

中区歴史年表

横浜市中区役所

中区の生い立ち

テーマパークの元祖とでもいうべき横浜中華街、企業・官庁のビルが林立する関内、そして、モールの美しい伊勢佐木町。これらの町は毎日、多くの来訪者で賑っているが、実は江戸時代まで、洲干と呼ばれる砂洲に抱かれた釣鐘状の入り海だったのである。【図①】

17世紀中頃、江戸の商人・吉田勘兵衛が8年の歳月を費やして、この大部分を埋立てた。これが有名な吉田新田で、のちにここを盛り土して伊勢佐木町ができあがる。18世紀になると洲干の付け根に隣接する海岸も埋立て横浜新田が造成された。これはのちに中華街となる場所だ。この横浜新田と洲干を横浜村といい、その頃は百戸ほどの寒村であった。一方、横浜村と並んでのちに中区となる本牧村は、風向明媚な絶景地として文人墨客に愛されていた。【図②】

嘉永6年（1853）、開国を求めてペリーが来航。外国奉行は、横浜開港場を建設するため、まず横浜村の住民を山手の本村（現・元町）に強制移住させる。続いて横浜村の南にあたる太田屋新田も埋立てられた。漁村として栄えていた本牧村は、ペリー来航のおかげで江戸湾防備の重要な地域となった。

それから6年後、横浜は開港することになる。村内のほぼ中央に、貿易と外交を扱う運上所（県庁の位置）を置き、その東側を外国人居留地、西側を日本人商業地とした。翌年には中村川の川尻から海岸までが開削され堀川が誕生。その結果、居留地は出島ようになり、橋には関門を設け通行人を厳しく取り締まった。関内という地名の由来はこの「関門の内側」からきているのだ。【図③】

明治22年（1889）には市制が施行され横浜市が誕生。本町1丁目に市役所もできた。その後、市域の拡張が行なわれ、本牧・根岸を横浜市に編入。当時このあたりの海岸はのどかな漁村であったが、明治末に横浜電気鉄道が開通すると、内陸部にも住宅が立ちはじめ、次第に都市としての形が整っていく。路面電車が本牧に乗り入れたことによって、それまでは外国人のものであった海水浴も、広く市民の行楽として定着するようになった。【図④】

明治から大正にかけての伊勢佐木町・関内はたいへんな賑いを呈したが、大正12年、これまでの町づくりを水泡に帰す関東大震災が発生。新田を埋め立ててできた関内・関外は地盤が弱く、壊滅的な被害を受けた。が、数日のちには全国から救いの手が差し延べられ、復興に向けて建設工事も始まった。

やがて時代は昭和に移り変わる。元年というのは僅か7日間で終わったため、翌2年（1927）が実質的な「昭和の幕開け」となった。この年、横浜市では市域を拡張するため、鶴見町・保土ヶ谷町と七つの村を合併。これにより、市の面積は3.6倍に膨れ上がり、人口も51万人を超えた。そこで同年10月、全市を5区に分割して区役所を設けることになった。中区はこのときに誕生したのである。

だが、翌年から張作霖爆殺、世界恐慌、満州事変と続き、世の中は次第にキナ臭くなってくる。そして太平洋戦争。市民にとって、なんともやりきれない時代の到来だ。昭和17年（1942）には、市役所内にあった中区役所が、桜木町駅前の興産館へ移転。これは燃えにくいコンクリート造りの建物へ移ることが目的だった。さらに戦火が激しくなると、警察署の管轄にあわせて区役所を作る

ことになり、中区から南区と西区を分離した。戦争の最中に分区を行なったのも、防空上の理由があったからなのである。

やがて中区にとって忘れられない昭和20年（1945）5月29日を迎える。爆撃機B29（500機）と戦闘機P51（100機）による横浜大空襲である。中区は本牧・根岸と山手の一部を残してほとんど壊滅。それは関東大震災に次ぐ大きな被害であった。

そして敗戦。すぐさま連合軍の横浜進駐が始まった。関内・関外などの焼け跡は急速に片付けられ、そこに米兵のためのカマボコ兵舎が次々に建てられた。続いて本牧、小港、山手なども接收され、その面積は区内の74%にも達した。敗戦日本を象徴する接收は、その後の横浜復興にとって大きな障害となったのである。

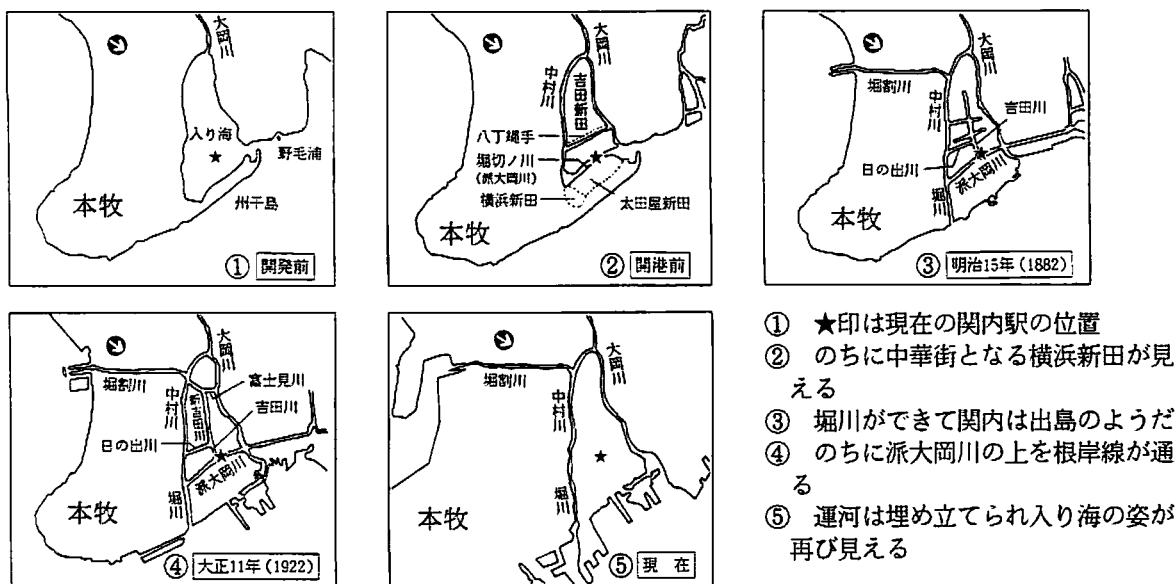
居留地と接收地。横浜（とりわけ中区域）は二度にわたって東京（江戸）を守る防波堤の役割を負わされてきたともいえる。

やがて接收解除が始まり、横浜港や関内の大部分が返還された。しかし、本牧海浜住宅や根岸住宅などは、日米安保条約に基づく「無期限使用」となり、本牧海浜住宅が接收解除されるのはそれから30年後のことである。

昭和30年代に入ると、高度成長の波に乗って根岸湾の埋立が始まり、本牧・根岸方面に大規模な工業用地が完成。桜木町止まりだった国電も埋立地の上を通過して磯子まで開通。このとき関内・石川町・山手の各駅が新設された。その後、県庁新庁舎が落成し、関内地区における本格的な建築高層化が始まる。

それから30年、関内・関外地区ではかつての運河が埋められ、その下に地下鉄や高速道路が走るようになった。馬車道・伊勢佐木町・関内駅とを結ぶ地下街「マリナード」も完成。接收解除された本牧の米軍住宅跡には、新しい街もできあがった。【図⑤】

横浜市の総合計画は「よこはま21世紀プラン」「ゆめはま2010プラン」へと発展し、現在、中区内では個性ある街づくりがすすめられている。（参考資料：中区史）



中区歴史年表

1853年（嘉永6）～1996年（平成8）

※この年表の期間は、ペリーが浦賀に現われた年から本書作成の前年までとした。

※項目の表現は、出典資料のままとした。

〈凡例〉

- ① 各項目の頭の数字は「月」を表わす。数字のない項目については月日が不明なものである。
- ② 1854年（嘉永7）から1872年（明治5）までの月は西暦に対応する。
- ③ 各項目末尾のアルファベットは出典を表わす。

〈例〉

1996（平成8）

10 官民一体となって文化支援を推進する中区メセナ活動推進懇話会が発足（S）

↑
月

↑
項目

↑
出典

出典一覧

記号

A	横浜近代史総合年表	有隣堂（石井光太郎＋東海林静男監修）
B	開港から震災まで 横浜中華街	横浜開港資料館
C	霧笛と共に 横浜開港記念会館史	中区役所
D	港ヨコハマ 博物まっぷ	中区博物館職員連絡会
E	横浜・中区廃校誌	中区役所
F	横浜市学校沿革史	横浜市教育委員会
G	中区地区沿革小史	中区役所
H	横浜の清掃事業120年のあゆみ	横浜市環境事業局
I	横浜下水道史	横浜市下水道局
J	のりあい自動車 横浜のバス60年	横浜市交通局
K	横浜文学散歩	横浜市教育委員会
L	根岸の森の物語	馬の博物館編
M	都市の記憶 横浜の近代建築（1）	横浜市＋横浜市歴史的資産調査会
N	横浜の造船業	横浜マリタイムミュージアム
O	都市の記憶 横浜の土木遺産	横浜市＋横浜市歴史的資産調査会
P	中区の主要事業あらまし	中区企画調整係
Q	中区のあらまし	中区統計選挙係
R	朝日新聞横浜版	朝日新聞社
S	広報よこはま中区版	中区役所
T	調査季報市政日誌	横浜市企画局
U	市民生活からみた戦後横浜史年表	横浜市
V	広報よこはまにみる戦後の横浜市政	横浜市

記号は年表の各項目末尾のアルファベットに対応する。

1853（嘉永6）

- 7 ペリー、旗艦サスケハナに塔じ浦賀鴨居沖に投錨、米大統領フィルモアより日本国帝への国書を日本高官に手交することを要求（A）
- 7 幕府、熊本藩主細川斉護（本牧警固）ら海岸警衛の諸大名に米艦内海乗入れの際、直ちに出馬すべき旨指令（A）
- 7 熊本藩主細川斉護、末家細川利用・宇土藩主細川立則の本牧警衛地派遣を老中牧野忠雄に上申（A）
- 7 熊本藩主細川斉護、本牧十二天の森で米船の動静を聴取（A）

1854（嘉永7＝安政1）

- 2 浦賀奉行、浦賀・神奈川浦間の名主に命じ小舟の米艦への近接を禁止（A）
- 2 横浜の村民、米使の武装上陸を合戦と思い、家具その他を持ち出し大いに混乱（A）
- 2 鳥取藩、本牧八王子社・十二天山院内等4か所に台場を築建（A）
- 2 鳥取藩主池田慶徳、米艦乗員が本牧八王子台場下を測量した旨老中に届出（A）
- 2 米艦隊乗員、バッテリー2艘に乗り横浜村に上陸（A）
- 3 松代藩警備兵、横浜村増徳院に到着（A）
- 3 鳥取藩家老鶴殿藤助、本牧警備の一番手を率い着陣（A）
- 3 日米和親条約12か条を締結（A）
- 3 幕府、異国船見物禁止令布告（A）
- 4 ペリー、横浜村に上陸して民情を視察、名主石川徳右衛門宅に立ち寄る（A）
- 10 鳥取藩主池田慶徳、本牧付近八王子・牛込・宮原・十二天の4砲台を引受ける（A）
- 10 日米和親条約調印（A）

1855（安政2）

- 1 幕府、鳥取藩主池田慶徳の本牧警衛を免じ、松江藩主松平定安に警備を命令（A）

1856（安政3）

- 5 幕府、松江藩主松平定安の本牧警衛を免ずる（A）

1857（安政4）

- 6 日米修好条約（下田条約）締結（A）

1858（安政5）

- 7 米艦ポーハタン号上で日米修好通商条約調印（A）
- 8 ロシアと修好通商条約調印（A）
- 10 フランスと修好通商条約調印（A）

1859（安政6）

- 4 横浜開港場建設工事着工（A）
- 6 吉田橋渡り始め（A）
- 6 野毛橋開通（A）
- 7 横浜開港（A）
- 7 運上所以東を外国人居留地とし、以西を内国人居住地と定める（A）
- 7 横浜町の行政機関として運上所の南側に町会所設置（A）
- 7 三井横浜店、本町2丁目に呉服業を開業（A）
- 7 弁天通りの南側を太田町、東南に港崎町を設置（A）
- 10 米国長老教会宣教師ヘボン、神奈川に来航（A）
- 11 米国改革派教会宣教師ブラウン、シモンズの2人、神奈川来航（A）
- 12 港崎廓、太田屋新田の新遊廓へ移転開業（A）

1860（安政7＝万延1）

- 2 横浜妓楼遊覧者数、毎日日本人約400人・外国人約10人（A）
- 2 吉田橋・野毛橋に関門設置（A）
- 3 横浜村立ち退き住民に元町一帯の土地を貸与（A）
- 3 桜田門外の変（A）
- 4 福井屋弥兵衛（本町）・鹿島屋清七（弁天通3丁目）・丸岡屋善兵衛（弁天通4丁目）、旅人宿を開業（A）
- 7 関内戸数約200戸（A）
旧居留地の道路整備、側溝1076間を構築（初の下水道整備の記録）（I）

居留地69番にフライとクックの造船所開業 (N)

堀川開削 (居留地と元町の隔離) (O)

前田橋・谷戸橋架橋 (A)

本牧の内海兵吉、パン屋を開業 (横浜のパン屋の祖) (A)

1861 (万延2 = 文久1)

- 2 南仲通から出火、506戸焼失 (A)
- 5 州干弁天社地先、西北海面の埋立に着手、オランダ領事館を建築 (A)
- 9 幕府、横浜に英学校 (洋学校・語学所) と漢学校 (修文館) を設立 (A)
- 10 下田座、北仲通2丁目に開業 (A)
- 10 西の橋を架橋、関門・番所を建築 (A)
- 11 ジャパンヘラルド創刊 (横浜における最初の週刊誌) (A)
- 11 海岸通から本町・弁天通大門口にかけ大火 (A)
- 春 洲干弁財天社裏馬場で初の競馬 (L)
岡倉天心、本町に生まれる (D)
寄席、金花亭 (太田町) 吉村亭 (南仲通) 清水亭 (弁天通) 松本亭 (州干町) が開業 (A)
佐野屋茂左衛門、太田町3丁目に佐野茂を開店 (横浜における会席料理のはじめ) (A)
太田屋新田を埋め太田町5丁目以東8丁目に延長 (A)

1862 (文久2)

- 1 フランス人宣教師ジラルール、居留地80番にフランス教会設立 (A)
- 5 太田町2丁目から出火、本町2・3丁目から海岸通まで延焼 (A)
- 9 生麦事件 (A)
- 12 ヘボン、居留地39番に住居を新築 (A)
- 12 野毛町大聖院留守居僧泰道、女犯罪で衣紋坂に曝し、法衣剥脱のうえ追放 (A)
- 春 ワーグマン、ジャパンプンチ創刊 (日本における最初の風刺漫画雑誌) (A)
- 春 下岡蓮杖、野毛に写真館開業 (A)
- 夏 中川屋嘉兵衛、富士の裾野の雪、諏訪湖等の

天然水を伐り出し馬車道に氷水屋を開店 (A)

この頃、140番にささやかな関帝廟が開かれたとの説あり (B)

横浜新田の円形馬場で初の正規の競馬 (L)

吉田新田・太田屋新田間の仮木橋を本橋に架け直し吉田橋と命名 (A)

居酒屋の伊勢熊、入船町で横浜最初の牛鍋屋開業 (A)

肥前屋小助、本町4丁目に両替商を兼業 (横浜における両替商の初め) (A)

1863 (文久3)

- 2 亀屋善三郎、弁天通3丁目の中村屋を買い取り生糸商を開業 (A)
- 7 洲干島地先字象ヶ鼻・野毛浦間に仮橋、番所を設置 (A)
- 7 幕府、英仏軍の横浜駐屯を許可 (B)
- 10 インド商業銀行横浜支店、居留地52番に設立 (A)
- 10 英聖公会教会開所 (A)
- 11 海岸通より出火 (A)
チャータード銀行横浜支店、居留地78番に設立 (A)
英人スミス、海岸通にクラブ (クラブ・ホテルの前身) を設置 (A)

1864 (文久4 = 元治1)

- 3 野毛橋 (都橋) 南詰吉田町堤に番所を建築、吉田橋関門・番所を吉田町に移転 (A)
- 12 横浜居留地覚書 (第2回地所規則) 調印 (A)
- 12 洲干弁天祠近傍にフランス公使館敷地の貸与を許可 (慶応1年建築) (A)
居留地欧米系外国人数309人、中国人100余人 (A)
脇沢金次郎、谷戸坂辺に西洋洗濯業を開業、英駐屯兵の洗濯を一手に引き受ける (A)

1865 (元治2 = 慶応1)

- 3 横浜製鉄所起工 (A)
- 3 港崎町裏手太田新田2万7000坪の埋立竣工、入札公示 (A)

- 4 幕府、英駐屯軍施設として根岸村に射撃場用地9016坪を無償貸与 (A)
- 4 幕府、野毛下に文学所を設け修文館と名づける (F)
- 5 伏島近蔵、本町3丁目に出店 (田辺屋) (A)
- 6 商人集会所、本町3丁目に設立 (A)
- 7 Cock Eye、149番地に清涼飲料水工場を開く (B)
- 7 フランスのアキス・ウートレーが海岸通2丁目にフランス語講習所を建設 (F)
- 10 横浜製鉄所建築工事竣工 (A)
原善三郎、弁天通3丁目に生糸売込商開業 (A)
高橋音松、吉田町堤で牛肉の串焼きを開業 (太田縄のれんの発祥) (A)
聖心教会派の宣教師、洲千町に仏和学校開く (F)
石川中村・根岸村・北方村・本牧本郷村・太田村を神奈川奉行預所とする (A)
末吉町1丁目の畑地に西洋野菜を試作 (A)

1866 (慶応2)

- 2 吉田新田沼地内のうち、東北隅数千坪の埋立 (製鉄所用地) 竣工 (A)
- 4 山手公園建設のため、居留民大会開催 (A)
- 5 太田屋新田沼地 (元町堀川境より港崎町まで) 埋立に着手 (A)
- 6 太田屋新田沼地港崎町の西側を埋立て末広町設置 (A)
- 9 本村から北方村方面に通ずる遊歩新道竣工 (A)
- 10 前田留吉、太田町8丁目に牛乳搾乳業を開業 (A)
- 10 米領事、中国人のため外国人埋葬地のうち、山手177番地地所貸渡を請願、この年、設置 (A)
- 11 横浜製鉄所、初めて艦船を製造 (A)
- 11 末吉町鉄五郎方から出火、港崎町・坂本町・弁天町・南仲通・北仲通、外国人居留地まで延焼 (A)
- 12 本町1丁目 (現海岸通4丁目) より西波止場まで海岸埋立に着手 (A)

山手墓地の一画500坪が中国人墓地として貸与される (B)

飯島栄助、元町に洋酒屋を開業 (A)

1867 (慶応3)

- 1 根岸競馬場で初競馬 (L)
- 2 吉田橋南方の吉田新田を遊廓地に指定 (港崎町の代地)、埋立に着手 (A)
- 3 馬車道が完成 (C)
- 5 吉原郭埋立工事竣工 (A)
- 5 慶応2年の火事による運上所類焼で、庁舎を新築し横浜役所と称す (A)
- 5 東西波止場間の海面を埋立て、西運上所を設置 (A)
- 7 野毛町農民・町役人、貨物輸送業を出願、許可を得て野毛橋 (都橋) 脇海面の埋立に着手 (A)
- 10 山手120番に英公使館建設 (A)
- 12 居留地清掃の入札、本町4丁目の七右衛門に落札 (A)
- 12 幕府、横浜外国人居留地取締役規則を定める (A)
清国居留民団、清国人集会所設立を出願 (A)

1868 (慶応4年=明治1)

- 4 横浜裁判所を設置 (A)
- 4 住吉町4丁目に定席佐野松座を開設 (A)
- 5 横浜裁判所 (横浜役所・戸部役所) を神奈川裁判所と改称 (A)
- 7 大谷嘉兵衛、海岸通 (元浜町) で製茶売込業を開始 (A)
- 7 弁天通3・4丁目の商家の軒先に露店商出現、古書画・骨董品を販売 (A)
- 8 神奈川県、本牧村・根岸村に番所を建築、肥後兵を配置 (A)
- 10 英人プラントン、弁天海岸の灯台建設に着手 (A)
- 11 神奈川裁判所、裏地の貸与を布達、この地を境町と命名 (A)
- 11 神奈川県を改め神奈川県とする (A)
Ah Why、居留地81番地で塗装店を営業 (B)

Wa Shing、居留地81番地に紳士服仕立屋を
営業 (B)

在日華僑の自治団体として会議所 (中華会館
の前身) 設立 (A)

石川町の増田万吉、外国人居留地に消防組を
設置 (A)

鈴木要蔵ら、波止場前に人足会所を創立 (A)

1869 (明治 2)

- 2 内田清七、允許を得て吉田橋北詰より野毛浦
石崎までの埋立に着手 (A)
- 2 早矢仕有的、新浜町 (現尾上町 3・4 丁目)
で丸屋商社 (丸善の前身) を開業 (A)
- 3 高島屋嘉右衛門ほか、入船町 (現常盤町・尾
上町 5 丁目) の埋立を申請し許可される (A)
- 5 小倉虎吉、南京町に理髪店を開業 (A)
- 6 下岡蓮杖ら、京浜間乗合馬車営業を開始 (A)
- 7 常盤町 5 丁目町田房造が氷水店を開業 (D)
- 7 弁天社、羽衣町に遷座 (A)
- 8 横浜元弁天に燈明台役所を設置 (A)
- 9 アメリカから派遣されたメリー・キダーによっ
て英語塾が開設された (フェリス女学院の前
身) (F)
- 9 横浜燈明台・神奈川裁判所間に官用電信線を
架設 (A)
- 10 野毛町・生麦村間の渡船開業 (A)
- 12 吉田橋鉄橋架替工事落成 (設計者ブラントン)
(A)
- 12 古屋徳兵衛、石川町亀の橋に鶴屋呉服店 (松
屋の前身) を創業 (A)
- 12 港崎遊廓完成、営業開始 (A)
- 12 中屋譲治ら 5 人、東京横浜間鉄道建設および
営業権の免許を神奈川裁判所に申請 (A)

1870 (明治 3)

- 1 東京横浜間電信架線竣工 (A)
- 3 神奈川裁判所、神奈川県庁と改称 (A)
- 3 野毛・吉田町大火、250 戸焼失 (A)
- 4 本町 1 丁目の魚商惣代金八ら 4 人、吉田新田
に魚市場の開設を申請 (A)
- 5 吉田勘兵衛ら 3 人、吉田新田地内沼地埋立を

申請 (A)

- 6 吉田橋脇より入船町 (現尾上町 5・6 丁目)
野毛浦までの海面埋立竣工 (A)
- 7 吉田新田の中に長者・福富の両町を新設 (A)
- 8 県、吉田町・野毛町の家屋に関し 3 年以内に
瓦葺に改めるべき旨布達 (A)
- 9 鹿児島藩軍楽隊、山手公園で初の野外演奏会
開催 (A)
- 12 ゲーテ座、本町通に開場 (A)
- 12 本町 1 丁目の新道完成 (A)
- Ah Loon、49 番地と 136 番地で理髪店を営業
(B)
- 下田座 (文久 1 年北仲通開業)、羽衣町に移
り佐野松と合併して下田座佐野松と改称 (K)
- 外国人のアマチュア劇、会芳楼で上演される
(B)
- 旧居留地に陶管の下水管埋設工事実施 (近代
下水道の始まり) (O)
- 均昌洋服店、80 番地で営業 (B)
- 中国人大工 Hip Cheong、147 番地で店を開く
(B)

1871 (明治 4)

- 1 南仲通 2 丁目より出火、南仲通・本町・弁天
通 2、3 丁目焼失 (A)
- 3 太田町 1 丁目より出火、入船町・駒形町焼失
(A)
- 5 横浜停車場地先海面 3 万坪を埋立て鉄道用地
にあてることを決定、着工 (A)
- 5 関内地区を対象に、火災防止のため板葺を禁
止し、瓦葺にすべき旨布達 (A)
- 5 馬車道小舟町より出火、馬車道・小舟町を焼
失 (A)
- 6 洲干町を洲干町通とし、海辺通を元浜町と改
称し、更に海岸通の町名を創立 (A)
- 6 弁天通から海岸通までを測量し、全丁目を変
換、県庁を元標と定め 1 丁目とする (A)
- 8 高砂町 1 丁目に西洋割烹開陽亭開業 (A)
- 8 廃藩置県 (B)
- 8 弁天通 3 丁目に横浜郵便役所を設置 (A)
- 9 県庁舎落成 (A)

- 9 相生町から港町に至る川を小松川と命名 (A)
- 9 太田屋新田埋立地へ相生・住吉・尾上・小松・小舟・高砂・港の7か町を設定 (A)
- 9 日清修好条規調印 (A)
- 11 太田村の内に日ノ出・三春・英・初音・霞・清水・児玉の7か町を新設 (A)
- 桜木町、花咲町、宮川町付近埋め立て (Q)
- 山手公園開設 (外国人専用の公園)。(O)

1872 (明治5)

- 4 コープランド、山手天沼にスプリング・バレー・ブルワリーを設立、ビールを醸造 (A)
- 4 東京・横浜間鉄道工事竣工 (A)
- 6 高島町を遊廓地と定め、吉原町遊廓の移転決定 (A)
- 6 桜木町より花咲町へ2橋を架し、東を錦橋、西を緑橋と命名 (A)
- 6 大江橋開橋 (A)
- 6 品川・横浜間鉄道落成し仮営業開始 (A)
- 7 マリア・ルス号事件起こる (B)
- 8 伊勢町から桜木町に至る坂を紅葉坂、橋を紅葉橋と命名 (A)
- 9 野毛橋を撤去し、北方に3間移動させ、都橋と改称 (A)
- 9 野毛橋の古材を太田村に移し、栄橋を架橋 (A)
- 10 ガス管市街地埋設工事ほぼ完了し、ガス灯初めて点火 (大江橋通り、馬車道、本町通り) (AO)
- 10 港町市場開設 (A)
- 10 港町6丁目より桜木町に架橋落成、桜橋と命名 (A)
- 10 新橋・横浜間鉄道開業 (A)
- 10 柳橋・雪見橋・黄金橋竣工 (A)
- 11 吉田町北裏海岸埋立地を柳町、町内の小橋を花見橋と命名 (A)
- 12 野毛浦埋立地を花咲町・宮川町と命名 (A)
- 旧居留地の下水工事完成 (I)
- 居留地102番でFor Sing馬車製作を行なう (B)

1873 (明治6)

- 2 第25番小学就蘭学舎 (北方小学校の前身)、北方村の東漸寺内に開校 (F)
- 3 吉原町遊廓、高島町へ移転 (A)
- 3 小野光景、北仲通2丁目に第1番小学壮行学舎を設立 (横浜小学校の前身) (A)
- 3 相生町3丁目より出火、同町以南港町河岸まで25町、1557戸焼失 (A)
- 4 三到学舎・明衛学舎 (ともに元街小学校の前身) が、元町4丁目・山手町に開校 (F)
- 5 第2番小学如春学舎、元弁天官舎の空き家に設立 (A)
- 5 蓬莱橋・鶴之橋・日之出橋・亀之橋の4橋を命名 (A)
- 6 第3番小学同文学舎、住吉町に設立 (A)
- 6 弁天通6丁目に横浜生糸改会社開業 (A)
- 7 翁町の魚鳥獸青物市場開業 (A)
- 7 弁天橋竣工 (A)
- 8 第一国立銀行横浜支店、本町5丁目に設立 (A)
- 9 海岸通にグランド・ホテル開業 (A)
- 10 豊国橋竣工落成 (A)
- 11 長者町1丁目・石川中村に架する車橋落成 (A)
- 140番地に中華会館の建物が建設される (B)
- この頃、関帝廟が140番地に開かれる (B)
- 存心学舎 (吉田小学校の前身) 創立 (E)
- 第27番小学洗心学舎 (本牧小学校の前身)、天徳寺を仮校舎として創立 (E)

1874 (明治7)

- 3 長者橋工事落成により通行許可 (A)
- 4 桜木町6丁目から福島町への架橋を瓦斯橋と命名 (A)
- 4 町会所竣工 (A)
- 4 本町1丁目に時計台完成 (C)
- 5 姿見町裏埋立地を伊勢佐木町と命名 (A)
- 6 吉田新田埋立町割地を三吉町と命名 (A)
- 6 桜木町1～10丁目を1～7丁目に変更 (A)
- 7 吉田新田埋立町割地を千歳町と命名 (A)

- 7 港座、住吉町1丁目に開業 (A)
- 7 石川町裏通を石川仲町と命名 (A)
- 7 町会所開場 (A)
- 7 北方村海岸の屠牛場、人家建て込み本牧八王子の谷戸へ移転 (A)
- 9 谷戸橋畔へボン邸内に横浜第一長老教会設立 (指路教会の前身) (A)
- 10 桜木町鉄道横断橋落成 (A)
- 10 相生町で下水工事のため馬車通行禁止 (A)
- 12 横浜郵便局、本町1丁目の元税関付属地に竣工 (洋風木造2階建て) (A)
- 12 外国人居留地の街灯はじめて点火 (A)
この年、関内のガス灯202本 (A)

1875 (明治8)

- 1 横浜裁判所、県庁内から山田町へ移転 (A)
- 1 横浜郵便局で海外郵便開業式 (A)
- 1 相生町・弁天通・南仲通・元浜町の水道工事完成 (A)
- 2 元町1丁目より出火、北方諏訪町に至る家を焼失 (被災家屋506戸) (A)
- 2 就蘭学舎、上野町の妙香寺に移転 (F)
- 3 英仏駐屯軍の撤退 (B)
- 6 フェリス女学校、山手に開校 (A)
- 6 三到学舎と明衛学舎が合併し、元街学校となる。校舎は元町1丁目、増徳院内 (F)
- 6 就蘭学舎が北方学校と改称 (F)
- 7 第1番小学壮行学舎が、第2番小学如春学舎、第3番小学同文学舎を併合して元浜町1丁目に移転、横浜学校と改称 (E)
- 7 長者町通の吉田川に新規架橋、千秋橋と命名 (A)
洗心学舎、本牧学校と改称 (E)
存心学舎、浪花町に移転し吉田学校と称する (E)

1876 (明治9)

- 2 横浜学校、北仲通6丁目到新築移転 (E)
- 3 伊勢佐木町で大相撲開催 (A)
- 3 石川町5・6丁目境より松影町に至る中村川

- への新規架橋落成し、翁橋と命名 (A)
- 6 関羽祭、居留地の関帝廟で開催 (A)
- 6 弁天通3丁目より出火、106軒焼失 (A)
- 10 花園橋竣工、通行許可 (A)
- 10 港橋竣工、通行許可 (A)
蔦座、伊勢佐木町に開業 (K)
彼我公園 (現・横浜公園) 開設 (O)

1877 (明治10)

- 2 清国領事館、居留地154番に開設 (A)
- 3 元町大火、230戸焼失 (A)
- 3 弁天通大火、140戸焼失 (A)
- 6 諏訪町の東漸寺等所有地を外国人居留地として買上げ (A)
吉田学校、山田町に移転し吉川学校と称する (E)

1878 (明治11)

- 1 修文舎、尾上町5丁目の高島学校跡に開校 (A)
- 2 西の橋架け替え落成 (A)
- 3 三吉町1丁目に私立三吉学校開校 (夜学)、住吉町5丁目に私立若米学校開校 (A)
- 5 根岸警察分署落成、開署 (A)
- 5 柳橋の河岸、麦湯で賑う (A)
- 7 横浜公園の3215坪を外国人のクリケット場として貸与 (A)
- 7 商法夜学舎を南仲通2丁目開設 (A)
- 7 内田町海岸水泳所標柱建設 (A)
- 8 平山甚太、山手で煙火を打ち上げる (A)
- 10 山手48番に先志学校開校 (A)
- 10 野毛山に私立教育医学校開校 (A)
- 11 郡区編制を布達 (横浜区を81カ町・9組合に編成し町制施行) (A)
- 11 本町1丁目1番地に横浜区役所開庁 (A)
- 12 馬車道通角の成駒屋馬車会社跡地に寄席富竹亭開業 (A)
日本で初めての近代テニス、山手公園で行なわれた (D)

1879 (明治12)

- 1 外国人居留地に町名を付す(薩摩町等30か町)
(A)
- 1 元町大火、255戸焼失(A)
- 3 町会所で初の県会を開く(C)
- 4 北方村字竹花の民有地を外国人居留地用地として買い上げ(A)
- 5 相生町6丁目より出火、10戸焼失(A)
- 7 弁天橋ほか6橋での橋銭徴収を廃止(A)
- 8 蓬菜町1丁目・万代町1丁目間の仮橋落成(A)
- 12 日本人による最初のクリスマス、海岸教会で開催(A)
- 12 尾上町5丁目に落語席福竹開業、松ヶ枝町に栗田座開座(A)
日本大通開通(O)

1880 (明治13)

- 2 横浜正金銀行、本町4丁目に開業(A)
- 3 元町の民有地を外国人居留地として買い上げ(A)
- 5 伊勢佐木町・姿見町・吉田町の一部を焼失(A)
- 5 町会所に横浜商法会議所が設置された(C)
- 6 横浜ジョッキークラブから日本レースクラブへ発展、明治天皇花瓶レース創設(L)
- 6 翁町2丁目出火、70戸焼失(A)
- 7 吉浜町・居留地間に仮橋完成(A)
- 8 寿町3丁目に寿学校開校(E)
- 9 ヘボン塾、東京築地へ移転(A)
- 9 北方村字杉谷の民有地を外国人居留地として買収(A)
- 10 米夫人宣教師ブリテン、山手48番にブリテン学校を設立(横浜英和女学校の濫觴)(A)
- 10 本牧学校の校舎、本牧本郷原に新築(E)
- 12 根岸村民有地を居留外国人墓地として買い上げ(A)
- 12 前田橋通居留地より出火、200戸焼失(A)
- 12 南仲通4丁目より出火、第二国立銀行等200戸焼失(A)

- 12 福富町・伊勢佐木町・姿見町等、250戸焼失(A)
吉川学校、再び浪花町に移転し吉田学校となる(E)

1881 (明治14)

- 1 関外各町のガス灯、点火料滞納のため消灯(A)
- 1 新遊廓、山田町・山吹町・千歳町・富士見町で新築に着手(A)
- 2 関内太田町以南の街路にガス灯点火(A)
- 4 共立女子神学校設立(A)
- 4 紅葉橋落成(A)
- 4 東波止場落成(A)
- 4 北方村の民有地を外国人居留地として買い上げ(A)
- 6 在留外国人3926人(清2505人、英556人、米247人、独230人等)(A)
- 7 居留外国人、町会所楼上で音楽会開催(A)
- 7 元町5丁目・居留地間道路、下水修造に着手(A)
- 7 野毛3丁目、花咲町4丁目道路下水工事着手(A)
- 8 北方学校、北方村に移転(F)
- 10 根岸村字仲尾の民有地を外国人牛乳製造所として買い上げ、居留地に編入(A)
- 10 山手に先志学校開校(A)
米国人イーストレーキ博士、山下町に歯科診療所を開設(D)

1882 (明治15)

- 2 真砂町より出火、137戸焼失(A)
- 3 横浜商法学校、町会所内に開校(A)
- 3 下田座改め羽衣座開場式(A)
- 8 賑町に賑橋(仮橋)を架設(A)
- 12 県庁が火災で焼失したため、町会所が仮庁舎となった(C)
- 12 元街学校、山元町4丁目に移転(F)
- 12 米国大写真絵、伊勢佐木町小林亭で開催(A)
羽衣座、羽衣町に開業(K)

1883 (明治16)

- 2 横浜区役所、町会所より県庁構内へ移転 (A)
- 4 野毛町4丁目・戸部町1丁目間の野毛坂切下げ工事落成 (A)
- 8 県庁、本町1丁目横浜税関跡に移転 (A)
- 8 清国領事館の新館が落成し、145番地から135番地へ移転する (B)
- 11 元町1丁目より出火、145戸焼失 (A)
この年、横浜英和学校男子部、山手に設立 (A)

1884 (明治17)

- 1 横浜苦楽部の新年会、野毛町の同苦楽部で開催 (A)
- 3 長谷川伸、日ノ出町に生まれる (K)
- 6 高橋某、海岸通で海水浴場を開業 (A)
- 7 山手居留地に谷戸坂通・富士見町・内台坂・西坂町・地藏坂等26の町名を付す (A)
- 7 扇町2丁目より出火、39戸焼失 (A)
- 8 天然痘、野毛町に流行 (A)
- 10 横浜YMCA、海岸教会に誕生 (日本で3番目) (A)
- 11 放火のため、伊勢佐木町1丁目等790戸焼失 (A)
- 11 洋人乞食出現 (A)
- 12 海岸通を6間通りに拡幅のため埋立開始 (A)
居留地81番地で同興がラムネ製造所を営業 (B)
伝道師ベネット、元町に横浜バプテスト神学校を開校 (D)

1885 (明治18)

- 1 横浜福音館、不老町に設立 (A)
- 1 山手居留地にガス本管を敷設 (A)
- 2 山手天沼のスプリング・バレー・ブルワリー醸造所倒産 (A)
- 2 大江橋へガス幹管架設を決定 (A)
- 7 横浜学校、付属幼稚園を併設 (E)
- 8 大江橋鉄橋架替工事竣工、開橋式 (長さ28間、幅2丈5尺) (A)

- 11 翁町辺に外人相手の銘酒屋 (ちゃぶや) 出現 (A)
- 12 横浜税関新築落成 (A)
寄席新丸亭、伊勢佐木町1丁目角地に開業 (A)

1886 (明治19)

- 1 居留地236番を横浜水道事務用地とする (A)
- 5 横浜法律学校、尾上町6丁目に設立 (A)
- 6 関外の地価騰貴、関内低落 (南仲通3・4丁目に空家目立つ) (A)
- 6 末吉橋架橋 (A)
- 7 外国人居留地薩摩町通等水道管敷設 (A)
- 9 福富町3丁目から出火、同2丁目・吉田町2丁目に延焼、類焼5000戸 (A)
- 10 新設水道、市中及び居留地に至るまで敷設おむね完了 (A)

1887 (明治20)

- 2 太田町2丁目より出火、10戸焼失 (A)
- 2 不老町1丁目より出火、80戸焼失 (A)
- 4 北方学校が北方尋常小学校と改称 (F)
- 5 谷戸橋架替工事着手 (A)
- 5 本町1丁目の横浜郵便局、電信局を合併、尾上町6丁目角へ移転、横浜郵便電信局と称す (A)
- 6 横浜消毒所を翁町5丁目に設置 (A)
- 8 横浜区役所、本町1丁目4番地へ移転 (A)
- 9 黄金橋修繕落成 (A)
- 10 横浜水道、市街地へ配水開始 (A)
- 10 長者橋・黄金橋間石垣築造着手 (A)
- 10 米人ブラウン女史が山手に家塾横浜女学校を開設 (捜真女学校の前身) (F)
- 11 境町1丁目で水道鉄管破裂、居留地辺まで浸水 (A)
- 11 元町2丁目より出火、全焼101戸 (A)
- 12 水道消火栓完成 (A)

1888 (明治21)

- 1 石川町3丁目より出火、250戸焼失 (A)
- 1 野毛大火、全焼1120戸 (A)
- 2 横浜商法学校を横浜商業学校と改称 (A)
- 3 打木彦太郎、米人クラークから横浜ベーカリーののれんを譲り受ける (A)
- 4 吉田橋修繕に着手 (A)
- 4 市制・町村制公布 (A)
- 5 緑橋架け替え落成 (A)
- 6 横浜衛生試験所、本町5丁目に落成 (A)
- 6 南・北仲通1丁目・4丁目間に陶管下水敷設 (A)
- 7 宮川橋新築落成 (A)

1889 (明治22)

- 1 前田橋架け替え工事着手 (A)
- 1 不老町2丁目の福音会英和夜学校開校 (A)
- 3 翁町3丁目から出火、全焼72戸、半焼26戸 (A)
- 3 北仲通横浜監獄未決監房廃止 (A)
- 4 横浜に市制実施、横浜区が横浜市となる (A)
- 4 横浜郵便電信局、公園内仮局より本町の新庁舎へ移転 (A)
- 5 市会が町会所で開かれた (C)
- 7 横浜市役所、本町1丁目に開庁 (旧区役所) (A)
- 7 浅水十明ら、真砂町1丁目に横浜盲人学校設立 (A)
- 10 根岸競馬場の馬見場新築落成 (A)
- 12 横浜商業学校、本町6丁目より北仲通6丁目に移転 (A)

1890 (明治23)

- 2 各町に衛生組合が設置される (H)
- 4 末吉町1丁目・日ノ出町2丁目間に旭橋落成 (A)
- 7 町会所を横浜貿易商組合会館と改称した (C)
- 10 指路教会定礎式挙行 (A)
- 12 京浜間の電話交換事務開始 (電話加入者数、

東京155人・横浜42人) (A)

- 12 尾上町3丁目私立真砂学校より出火、全焼16戸 (A)

1891 (明治24)

- 1 清国商船ピンヤ号来港 (初めての清国商船の横浜入港) (A)
- 2 元町4丁目の湯屋より出火、全焼218戸 (A)
- 3 この頃、本牧辺に怪しげな洋酒一杯飲み屋続々増加 (A)
- 3 元町5丁目より出火、全焼45戸 (A)
- 5 港橋架設工事入札実施 (A)
- 9 横浜停車場に桜木電話所を設置 (A)
- 9 米人ドレーバ博士婦人が石川に盲人福音会を創立 (横浜基督教訓盲院の前身) (F)
- 10 ヘボン博士、明治学院総裁を辞職し、指路教会堂建築に全力を傾注 (A)
- 10 横浜バプテスト捜真女学校、山手町に設立 (A)
この年、島崎藤村、伊勢佐木町2丁目の雑貨店「まからぬや」で働く (A)

1892 (明治25)

- 1 指路教会新築会堂、尾上町6丁目82番に竣工、献堂式挙行 (A)
- 1 福富町1丁目より出火、全焼56戸、半焼15戸 (A)
- 3 根岸村字西竹之丸に横浜婦人慈善会根岸病院落成、開院式挙行 (A)
- 4 横浜学校、尋常高等横浜小学校と改称 (E)
- 4 吉田学校、尋常高等吉田小学校と校名改称 (E)
- 4 元街学校、尋常高等元街小学校と改称 (F)
- 4 寿学校、尋常高等寿小学校と改称 (E)
- 4 本牧学校、尋常本牧小学校と改称 (E)
- 6 富士見町2丁目より出火、焼失83戸 (A)
- 8 吉川英治、生まれる (本籍吉田町) (K)
- 10 ヘボン博士夫妻、帰国 (A)
- 12 元町1丁目より出火、98戸焼失 (A)
地藏王廟の建設着工、落成 (B)

1893 (明治26)

- 1 千歳座開業 (A)
- 1 尾上町5丁目・住吉町5丁目間、地揚工事着手 (A)
- 9 外人の銭湯、グランド・ホテル裏手に開業 (A)
- 9 居留地シナ町の日本人居住者数1300人、うち男10分の1 (A)

1894 (明治27)

- 1 横浜小学校女子部校舎新築落成式挙行 (A)
- 4 横浜銀行集会所、南仲通3丁目に落成、発会式挙行 (A)
- 5 伊勢佐木・石川・山手の3消防組を設置 (A)
- 6 元町5丁目の湯屋より出火、石川仲町まで延焼、全焼1064戸 (A)
- 7 河北時計店、弁天通3丁目に落成 (A)
- 7 日英通商条約締結 (B)
- 8 築港工事のうち西波止場棧橋落成 (A)
- 8 日清戦争始まる (B)
- 9 吉田学校、開校式 (A)
- 11 尾上町1丁目より出火、真砂町1丁目まで延焼、全焼65戸 (A)
石川駒吉、根岸立野山に練乳製造所を開設 (A)

1895 (明治28)

- 3 加賀町・山手本町の2消防組設置 (A)
- 4 居留地中国人増加、1796人を記録 (A)
- 4 松永延造、扇町の駿河屋材木店に生まれる (K)
- 5 千代崎町の茶焙業より出火、本牧村北方まで延焼、全焼79戸 (A)
- 8 横浜貿易商組合会館を横浜会館と改称。建物は市に譲渡された (C)
- 9 横浜商業会議所、本町1丁目に設立 (A)
- 9 横浜製氷(株)、山手居留地に設立 (A)
- 11 ライトホテル、居留地に開業 (A)

1896 (明治29)

- 3 横浜生糸検査所を県庁内に設置、4月開業 (A)
- 6 横浜生糸検査所、新築落成、県庁から本町1丁目へ移転 (A)
- 6 県測候所を海岸通1丁目4番地に設置、10月開所 (A)
- 9 吉浜橋仮橋、進水式見物中の市民70人落水、うち7人溺死 (A)
内防波堤の赤灯台と白灯台設置 (D)

1897 (明治30)

- 2 山吹橋・千秋橋間及び山吹橋・武蔵橋間石垣築造工事着手 (A)
- 7 谷戸橋際・本牧十二天の鼻間26万坪の埋立に出願者4件 (A)
- 9 市内地価、本町130~200円 相生町70~120円 伊勢佐木町100~150円 など (A)
- 10 新吉田川第2運河開通 (A)
- 10 大佛次郎、英町に生まれる (K)
- 12 横浜停車場構内大火 (A)
この年、千歳座、千歳町に開座 (A)
この年、相生座、松ヶ枝町に開座 (A)

1898 (明治31)

- 1 田島淳、根岸に生まれる (K)
- 5 横浜小学校、男子部の校舎を新築 (A)
- 7 搾乳業者、弁天橋東楼で家畜税反対の会合を開催 (A)

1899 (明治32)

- 1 日ノ出町2丁目の私立横浜女学校設立認可、2月開校 (A)
- 2 尋常寿小学校の新校舎、翁町4丁目に竣工、移転 (E)
- 3 横浜税務署、日ノ出町2丁目に移転 (A)
- 4 山手キリンビール会社付近農民、同社から発生する被害防止を県に上申 (A)
- 4 西波止場に水上警察分署開設、8月に横浜水上警察署独立 (A)

- 4 蓬萊町の美以教会堂、新築落成、献堂式挙行 (A)
- 7 下手居留地を山下町、山手居留地を山手町と改称の件許可 (A)
- 7 吾妻楼、本牧村山下字梅田に大滝を完成、海水浴場と合わせて開業 (A)
- 8 華商会議所発会式、中華会館で挙行 (A)
- 10 フランスサンモール修道会が山手に横浜紅蘭女学校 (双葉学園の前身) を創立 (F)
- 10 桜木町1丁目の川村屋 (西洋料理)、横浜停車場内に飲食店開業 (A)
- 11 伊勢佐木町通の東洋館勸業場3階にビヤホール開店 (A)
- 11 横浜館勸業場、吉田町1丁目の旧蔦座跡に開場 (A)
- 12 賑町1丁目に喜楽座開場 (両国座を改称) (A)
- 吉田小学校が横浜大火で全焼 (E)

1900 (明治33)

- 1 羽衣座・賑座再建開場 (A)
- 2 賑町2丁目より出火、駿河町等に延焼、325棟全焼 (A)
- 6 蓬萊橋竣工、開通式 (A)
- 12 久良岐郡本牧村・根岸村などを横浜市に編入 (A)

1901 (明治34)

- 1 雲井座、久方町に開場 (A)
- 4 羽衣座、再建舞台開き (A)
- 4 市域改正に伴い北方町・本牧町・根岸町など設置 (A)
- 4 市役所出張所を本牧・根岸・神奈川に設置 (A)
- 4 本牧小学校の位置、本牧町に (E)
- 5 市内警察署に電話設置 (A)
- 5 本牧住民、市役所出張所廃止反対を運動 (A)
- 6 山手聖公会クライスト教会新築落成 (A)
- 8 横浜郵便電信局福富町支局、長者町郵便支局と改称 (A)
- 8 寿警察署、遊廓内に跋こするグレン隊と称す

る集団の隊長2名を引致 (A)

- 8 水に浮かぶビヤホール酔来亭、吉田橋際が開業 (A)
- 秋元不死男、元町に生まれる (K)

1902 (明治35)

- 1 花咲町5丁目の横浜瓦斯局火災 (A)
- 1 内田町・長住町地先埋立地を入船町と命名 (A)
- 3 横浜郵便電信局長者町郵便支局、横浜郵便電信局長者町支局と改称 (A)
- 3 野毛町3丁目の日本自転車奨励会主催第1回懸賞競争会、長島町で開催 (A)
- 5 伊勢佐木町1丁目の蔦座で映画 (常設) 興業 (A)
- 5 市水道事務所、水道局と改称 (A)
- 5 石川町大火、235戸焼失 (A)
- 6 古着市場、吉田町1丁目土手下に開設 (A)
- 6 銘酒店 (チャブヤ) における各国水兵の麦酒相場、米40銭・英35銭・独仏伊30銭 (A)
- 7 箕輪三郎・石川徳右衛門ら、山手町代官坂の隧道開削工事着手 (A)
- 10 市、海岸通5丁目地先海面1523坪の埋立を出願 (A)
- 12 市立吉田小学校新築落成1周年記念式、私立警醒学校新築落成式挙行 (A)
- 12 大江橋架橋工事竣工、開橋式 (A)
- 12 日本波止場・山手本町公会堂前など6か所に自動電話開設 (A)

1903 (明治36)

- 5 亀の橋の鶴屋呉服店、新築落成大売出し (A)
- 7 横浜市街電気鉄道会社、伊勢佐木町縦貫線路敷設を出願 (A)
- 8 青物市場、市役所用地にあたり閉鎖、表高島町に仮移転 (A)
- 10 横浜座 (旧雲井座)、初興行 (A)
- 10 山下町海岸通11番にオリエンタル・パレス・ホテル新築、落成披露 (A)
- 12 羽衣座より出火、蓬萊町1丁目まで延焼、全焼111戸 (A)

- 12 三吉町3丁目より出火、千歳町2丁目に延焼、全焼100戸(A)
- 12 中華会館設立(A)

1904 (明治37)

- 3 南吉田町・中村町間の新設橋を道場橋と命名(A)
- 5 市、神奈川・本牧・根岸の3出張所廃止(A)
- 9 横浜桜木電信局、二等郵便局に昇格し横浜桜木郵便局と改称(A)
- 12 北林透馬、馬車道平安堂に生まれる(K)
横浜電気鉄道株式会社(市電の前身)、大江橋・神奈川間に開通(Q)
大同学校の幼稚園創設される(B)

1905 (明治38)

- 2 英町より出火、太田小学校1棟と26戸全焼(A)
- 4 横浜第一高等小学校(本町小学校の前身)、北仲通6丁目に開校(F)
- 7 横浜電気鉄道(大江橋・西の橋間)開通(A)
- 7 横浜婦人慈善会、根岸町西竹之丸に移転(A)

1906 (明治39)

- 1 横浜銀行集会所開館式(A)
- 5 海岸通地先埋立を新港町と命名(A)
- 5 尋常元街小学校、山手町27番地へ移転(AF)
- 7 横浜教育水族館、羽衣町弁天社内に竣工(A)
- 7 根岸町字相沢より出火、全焼638戸、私立第二警醒学校1棟焼失(A)
- 7 市衛生課・戸籍課、日ノ出町2丁目の旧横浜女学校跡地へ移転(A)
- 11 共立女学校創立35周年祝賀会開催(A)
- 11 私立警醒学校、根岸町西竹之丸に再建(A)
- 12 隣家からのもらい火で横浜会館焼失(AC)
三溪園が公開される(Q)
聖心教会、山手に移転(現・カトリック山手教会)(D)

1907 (明治40)

- 7 花咲町10、11丁目と桜木町7丁目間に架設の橋梁を花咲橋と命名(A)
- 9 赤門東福寺、焼失(A)
- 11 山下町のクラブ・ホテル焼失(A)

1908 (明治41)

- 3 桜川埋立問題協議会、桜川を埋立てずに花咲町側に15間幅の新国道を設けることを諒承(A)
- 3 三吉町4丁目・中村町間に架設の橋梁を三吉橋と命名(A)
- 4 パリー・ホテル、山下町に新築落成(A)
- 4 横浜小学校が尋常本町小学校と校名改称(E)
- 5 喜音満、福富町1丁目に開設(横浜最初の活動写真常設館)(A)
- 10 弁天橋、架け替え工事竣工、開通式(A)
- 12 横浜教育水族館解散(A)
この年、華僑学校設立(B)

1909 (明治42)

- 2 山手本町警察署焼失、仮庁舎に移転(A)
- 3 尋常本町小学校を尋常横浜小学校と名称変更(AE)
- 7 横浜開港50年記念祭(B)
- 7 開港記念電気館、福富町1丁目(郵便局跡)に開館(A)
- 7 本町1丁目の横浜会館跡に建設する横浜開港記念会館の地鎮祭執行(A)
- 11 伊勢佐木常設消防隊設置(市における常設消防の初め)(A)

1910 (明治43)

- 3 野毛3丁目より出火、4丁目・福島町・花咲町4～5丁目に延焼、全焼494戸(A)
- 5 太田町の560人、日ノ出川埋立反対を市会議長に陳情(A)
- 8 横浜本町図書館、尋常高等本町小学校内に開館、分館を横浜小学に設置(A)
- 12 長者町9丁目より出火、8丁目・末吉町1丁

目・若葉町の一部が焼失、全焼154戸（A）

1911（明治44）

- 3 市会、本牧・根岸・屏風ヶ浦海面の埋立を可決（A）
- 4 尋常高等立野小学校開校（F）
- 7 横浜電気鉄道会社の本牧延長線工事に伴う隧道工事、59日めに貫通（A）
- 7 市役所新庁舎、港町1丁目1番地に落成、開庁式挙行（A）
- 7 鉄の橋際勤工場跡に演芸場・横浜館開館（A）
- 8 三井物産横浜支店ビル、山下町177番地に竣工（日本最初の本格的コンクリート建築）（A）
- 10 外人拳闘家、羽衣座で日本人柔道家と試合を挙行（A）
- 11 吉田橋改築工事竣工、開橋式（A）
- 12 オデヲン座、長者町6丁目に新築落成（A）
- 12 横浜電気鉄道羽衣町線（馬車道・駿河橋間）開通（A）
- 12 横浜電気鉄道本牧線（西の橋・本牧原間）開通（A）

1912（明治45＝大正1）

- 2 相生町1丁目の根津自転車店、杉田観梅自動車を運転（往復1台3円）（A）
- 7 活動写真館又楽館、賑町1丁目に開場（オデヲン座隣）（A）
- 7 国民新聞横浜支局主催の本牧海水浴場開場（A）
- 7 大正と改元（A）
- 10 本牧花屋敷開場（菊人形の他に活動写真館及び演舞場を併設）（A）
- 12 本牧美術館、本牧三之谷の海月で三溪新古美術展覧会の名により開会式（A）

1913（大正2）

- 3 南京町の中国人有志、孫文一行の歓迎会を中華会館で開催（A）
- 3 福富町2丁目より出火、尾上町・南仲通に飛火、全焼203戸、半焼43戸（A）

- 4 横浜市街自動車（株）、桜木町1丁目に設立（自動車の賃貸営業）（A）
- 6 県庁舎、本町1丁目3番地に改築竣功し、横浜公園内仮庁舎より移転（A）
- 6 市会、根岸海岸埋立を可決（A）
- 12 啓蒙学校が中華学校と改名し、開校式が行なわれた（B）

1914（大正3）

- 1 本牧小学校、天徳寺に新校舎建築、移転（E）
- 2 伊勢佐木町1丁目勤工場帝国商品館より出火、25戸焼失（A）
- 10 賑座、改築落成（A）
- 11 本牧町漁業組合設立（A）

1915（大正4）

- 1 羽衣座、4度目の焼失、廃座（A）
- 4 喜楽座、改築落成（土足入場・椅子席となる）（A）
- 4 敷島館、賑町2丁目に設立（A）
- 4 蓬萊町の私立横浜家庭割烹女学校認可、5月開校（A）
- 7 休業の賑座、商号を朝日座と改号し開業（A）
- 8 新設横浜停車場開業（高島町）、旧横浜停車場を桜木停車場と改称。桜木町・程ヶ谷の直通運転を廃止（A）
- 8 鉄道院、横浜・大船間鉄道線路敷設調査のため野毛町等128町の土地立ち入りを市に通知（A）
- 10 山下町大村屋商店発売のリグレーチューインガム売行好調（A）
- 12 院線電車、横浜駅・桜木町駅間開通（A）

1916（大正5）

- 9 山手の横浜英和女学校、蒔田町へ移転（A）
- 9 志成学校、山下町53番地に移転（B）

1917（大正6）

- 3 鉄道院、院線延長のため蒔田町等8町の土地立入調査を県に通知（A）
- 7 開港記念横浜会館、開館式（A）

- 8 大棧橋完成（工期5年2ヶ月）（A）
- 9 福富町の記念電気館を改築改称し、喜音満座開場（A）
新港ふ頭完成（Q）

1918（大正7）

- 2 院電、横浜・桜木町間高架軌道完成（A）
- 3 院電大船延長線路にあたる地上物件移転終了（A）
- 3 生糸検査所新庁舎竣工、移転（A）
- 4 新桜木町駅改築落成、開業（A）
- 9 県、屋上制限令公布（新改築時に不燃物により屋上を覆うことを義務化）（A）
- 12 市、公設日用品小売市場を一斉に開業（青木・西戸部・南吉田・本牧）（A）

1919（大正8）

- 3 院電大船延長線、栄橋・一本松間の用地買収一部完了（A）
- 3 松屋鶴屋呉服店支店、石川町4丁目に設立（A）
- 4 簡易食堂、県庁でも開始（職員15銭・一般25銭）（A）
- 4 簡易食堂、本町食堂と命名され開港記念会館で営業開始（和食17銭・洋食25銭）（A）
- 4 千歳町1丁目より出火、2・3丁目、長者町2～3丁目、松影町5丁目、扇町5丁目まで焼け全焼3084戸（A）
- 6 田中常彦発起のマンダリン音楽会、開港記念会館で開催（A）
- 7 関外芸妓300人、ストライキ（A）
- 7 市、児童海水浴場を本牧字原海岸に設置（A）
- 11 市、運河利用状況調査を大江橋で開始（A）
尋常寿小学校、埋地大火により全焼（E）

1920（大正9）

- 1 開港記念横浜会館で官民合同賀詞交換会（C）
- 7 市花咲町職業紹介所開所（A）
- 7 第1回開港記念祝賀バザー、横浜公園広場で開催（A）
- 10 開港記念横浜会館でエリアナ・パプロバ露西

亜舞踊公演（C）

- 12 寿小学校（前年に焼失）新校舎落成（A）
- 12 尋常寿小学校、横浜市における最初の鉄筋コンクリート校舎竣工（E）
- 12 富士見町職業紹介所、元憲兵駐屯所跡に開所、千歳町職業紹介所閉鎖（A）
浅野良三、元町に大正活映撮影所を創立（D）

1921（大正10）

- 3 市電気局、運輸課出張所（日本橋・滝頭・馬車道・高島町・桜道下）を設置（A）
- 3 第1号路線（花園橋通）工事竣工（焼け跡道路拡張完了）（A）
- 4 海外渡航者検査所、桜木町に開所（A）
- 4 根岸町字柏葉に市営住宅増設着工（A）
- 4 市電気事業開始（A）
- 4 尋常江古田小学校（山元小学校の前身）、根岸町字江古田に開校（F）
- 4 尋常高等大鳥小学校、本牧町に開校（F）
- 4 本牧在住の勤め人で組織する「つばめ会」、三溪園で園遊会を開催（A）
- 5 本牧和田山在住の下村観山、国宝秘物探究のため関西方面へ出発（A）
- 6 フィデリオマンドリン会、開港記念会館で演奏会を開催（A）
- 8 市営海水浴場開設（根岸加曾・本牧牛込・本牧原）（A）
- 8 市児童相談所・託児所、富士見町1丁目に設置（A）
- 12 港町公設市場認可、翌年2月開業（A）
- 12 童謡「青い眼の人形」「赤い靴」発表（A）
- 12 万国橋職業紹介所、開所（花咲町職業紹介所廃止）（A）
- 12 万国橋食堂、職業紹介所内に開業（A）

1922（大正11）

- 1 伊勢佐木署、伊勢佐木通を中心に愚連隊狩り（A）
- 3 海岸教会創立50年祭開催（A）
- 3 市営柏葉住宅落成（A）
- 5 開港記念会館で三浦環演奏会（C）

- 6 第二消防署北方分署を設置 (A)
- 7 大江橋架け替え工事竣工、開橋式挙行 (A)
- 9 省線の大船延長、予算緊縮策の影響を受け当中中止と決定 (A)
- 10 山下橋開橋式・山下町海岸埋立竣工祝賀会、グランドホテルで開催 (A)

1923 (大正12)

- 1 市会、省線大船線延長工事促進意見書を鉄道大臣らに提出 (A)
- 2 山下町地先埋立地97,696坪を新山下町1丁目・2丁目・3丁目、山下町に編入 (A)
- 3 野沢屋輸出店、太田町2丁目に設立 (A)
- 4 開港記念会館で藤原義江独唱会 (C)
- 4 尋常寿小学校が市立寿小学校と改称 (E)
- 4 野毛2丁目に日ノ出女学校設立認可 (1932年10月、名称を富士見高等女学校に改称) (A)
- 6 花咲町の横浜劇場、松竹キネマの常設館となる (A)
- 7 市営の翁町共同住宅館貸与開始 (6畳7円20銭) (A)
- 9 関東大地震 (A)
- 9 横浜小学校、吉田小学校、大震災により全焼 (E)
- 9 開港記念横浜会館、関東大震災により損壊、閉館された (C)
- 9 市庁舎類焼により、桜木町の中央職業紹介所を仮庁舎とする (A)
- 9 寿小学校、大震災により内部全焼 (E)
- 10 市電気軌道、馬車道・日本橋間復旧 (A)
- 10 震災救護事務局、17か所の公設市場を設置 (A)
- 11 横浜憲兵隊、本部を横浜公園内のバラックに移転 (A)
- 12 新築落成の横浜館・敷島館、同時に初興行 (A)

1924 (大正13)

- 1 寿亭・オデヲン座・角力常設館再建開場 (A)
- 3 喜楽座、新築開場 (A)
- 3 鶴屋呉服店、吉田橋畔に新築開業 (関東で初

めて土足入場実施) (A)

- 4 横浜唯一の舞踏場テント・ホテル、旧グランド・ホテル裏に竣工 (A)
- 4 市電、本牧延長線 (本牧・間門間) 開通 (A)
- 5 越前屋、新築落成 (A)
- 5 横浜電気館開場 (A)
- 5 花咲町の横浜タクシー自動車、開業 (A)
- 5 間門園開園 (A)
- 6 市役所出張所を廃止 (A)
- 8 市直営桜木町公衆食堂開設 (A)
- 10 花園橋、翁町公衆食堂開設 (A)

1925 (大正14)

- 2 横浜女子商業学校、野毛町に設立認可 (A)
- 2 海岸教会、山下町167番地に竣工、献堂式 (A)
- 6 本牧北方のチャブヤ第1次手入れ (A)
- 10 伊勢佐木町・山手本町の2警察署を各々、伊勢佐木警察署・山手警察署と改称 (A)
- 10 横浜港棧橋復旧工事竣工 (A)
- 11 山手警察署の位置を本牧町に変更 (A)
- 12 横浜地方・横浜区裁判所新庁舎、本町1丁目に竣工 (A)

1926 (大正15=昭和1)

- 3 横浜都市計画河川 (千代崎川) 改修・執行年割認可 (A)
- 5 横浜公園球場新装工事竣工 (A)
- 5 市立小学校復興第1号の三吉小学校竣工、本牧小学校落成式 (6月)、南吉田小学校落成式 (10月) (A)
- 5 千秋橋開通式 (A)
- 6 羽衣橋開通式 (A)
- 6 加賀町警察署新築落成、開庁式 (A)
- 6 市設上台小売市場、本牧町字上台に設置 (A)
- 6 生糸検査所新築落成、竣工式 (A)
- 6 本牧小学校、鉄筋コンクリートの新校舎竣工 (E)
- 9 野毛山公園第1工事区竣工、この日開園式 (A)

- 10 指路教会再建、献堂式（A）
- 10 大同学校、華僑学校、中華学校の三校を合併した中華公立学校の落成式、141番地で挙行（B）
- 12 伊勢佐木ビルの一部、吉田町1丁目に開業（A）
- 12 西の橋開通式・元町人道トンネル起工式（A）
- 12 昭和と改元（A）

1927（昭和2）

- 1 アメリカ人形使節の第1陣300体、サイベリア丸で到着（A）
- 2 世界館、長者町に竣成、パラマウント映画会社直営として開館（A）
- 2 全市街路復興の先駆けとして、桜木町通りの舗装完成（A）
- 2 米国から送られた人形の歓迎会、南吉田小学校で開催（A）
- 3 市電、南四ツ目・花園橋間開通（A）
- 3 米国寄贈人形歓迎会、本牧小学校で開催（A）
- 4 北仲通6丁目地先埋立地1601坪を、同丁に編入（A）
- 5 開港記念横浜会館震災復旧工事竣工（C）
- 5 桜木町駅改築工事竣工、使用開始（A）
- 6 伊勢佐木町通りの舗装工事完成（吉田橋・松ヶ枝町間）（A）
- 8 本町小学校、校舎新築のため花咲町3丁目に移転（F）
- 9 伊勢佐木町通りの舗装工事竣工（吉田町1丁目・松ヶ枝町北端間）（A）
- 9 横浜電鉄大岡川線のうち、駿河橋・お三ノ宮間開通（A）
- 9 市電気鉄道長者町線（長者町3丁目・車橋間）開通（A）
- 9 賑町の帝国キネマ直営敷島座落成（A）
- 10 区制施行、中区誕生（A）
- 10 米国へ答礼の人形『浜子さん』送別会、開港記念会館で開催（A）
- 11 県測候所、山手町99番地の元米海軍病院跡に移転（A）
- 11 松ヶ枝町の角力常設館、新築落成開館（A）

- 12 ホテル・ニューグランド竣工、開業式（A）
- 12 伊勢佐木署新庁舎開庁式（A）
- 12 湘南電気鉄道会社による桜木町、日ノ出町、南太田町間敷設免許（A）

1928（昭和3）

- 3 開港記念日、7月1日を6月2日に変更（A）
- 3 山手隧道開通式（A）
- 4 横浜小学校の新校舎、鉄筋コンクリートで山下町に竣工（E）
- 4 東京駅・横浜港駅間に直通列車はじめて運転（A）
- 5 市電薩摩町線（花園橋・山下町間）開通（A）
- 5 市電野毛山線（西平沼橋・野毛坂間）開通（A）
- 6 市電税関線（常盤町1丁目公園前・山下町英一番館前間）廃止（A）
- 6 市電八幡橋線（中村橋・南六ツ目間）、千歳橋線（千歳橋・睦橋間）開通（A）
- 7 吉田小学校、鉄筋コンクリートの新校舎が竣工（E）
- 8 市電山元町線（車橋・山元町間）、久保町線の一部（阪東橋・南四ツ目間）開通（A）
- 8 新装の朝日座、伊勢佐木町に開場（A）
- 8 震災記念館、市図書館隣に竣工、開館式（A）
- 9 伊勢ビル百貨店、吉田橋際に開業（A）
- 9 翁町小公園開園（A）
- 9 区画整理地区等の町名地番改正実施（A）
- 10 伊勢佐木町通（松ヶ枝町・長島町4丁目間）舗装工事竣工（A）
- 10 横浜駅新築開業、旧横浜駅を高島駅と改称（A）
- 10 横浜小学校新築校舎竣工、落成式（A）
- 10 市電、尾上町・本町3丁目間開通（A）
- 11 県庁落成式（A）
- 11 桜木町・蒔田町間省線廃線敷地等を湘南電気鉄道会社に払い下げ許可（A）
- 11 市バス営業開始（桜木町・小港間等7路線）（I）
- 11 市電、長者町5丁目・野毛坂間開通（A）
- 11 野沢屋、横浜駅・桜木町と本店の間に無料送

- 迎自動車の運転を開始（A）
- 12 県、市出願の根岸町地先21万坪埋立計画につき認可を指令（A）
- 12 市音楽堂、横浜公園内に竣工、海軍音楽隊を招き市民大音楽会を開催（A）
- 12 市電、吉野町3丁目・日ノ出町1丁目間開通（A）
- 12 市電、万国橋線（本町4丁目・万国橋間）、本町線（桜木町駅前・山下町間）開通（A）
- 12 大礼記念特別観艦式、横浜港沖合いで挙行（A）

1929（昭和4）

- 1 同潤会、山下町に建築中の月賦分譲住宅10戸の受付を開始（A）
- 2 横浜麻雀クラブ、伊勢佐木町に開業、日中麻雀試合開催（A）
- 2 懸案の山下町区画整理工事完了、最終精算書を発送（A）
- 3 横浜公園復旧工事完成、開場式（A）
- 3 横浜税務署、野毛3丁目に移転（A）
- 3 早慶野球戦、横浜公園グラウンドで開催（A）
- 4 大岡川河口の名物、斜めの燈台、取り壊しに着手（A）
- 5 横浜貿易会館、海岸通西波止場入り口に落成（A）
- 5 元街小学校、山手町36番地へ移転（F）
- 5 根岸競馬場、鉄骨・鉄筋コンクリート馬見所新築へ（L）
- 5 市設寿小売市場、寿町4丁目に竣工（復興計画中の市場建設完了）（A）
- 5 市中央授産所、桜木町に設置（A）
- 5 輸出品見本陳列場、税関構内4号上屋に開場（A）
- 6 伊勢佐木町入り口の横浜館閉鎖（A）
- 6 体育館道場、横浜公園内に開場（A）
- 7 ライジングサン石油会社、山下町に新築落成祝賀会（A）
- 7 間門尋常小学校、本牧町二の谷に開校（F）
- 7 市電、日ノ出町1丁目・桜木町駅前間開通（A）

- 8 ツェッペリン伯号、横浜上空を一周（A）
- 8 商工奨励館常備陳列場開館（A）
- 9 氷川丸、横浜船渠で進水（A）
- 10 根岸競馬場観覧場竣工（A）
- 11 興産館、桜木町駅前授産所に開館（A）
- 11 市電万国橋線（本町4丁目・万国橋間）廃止（A）
- 「横浜公園の由来」を記した碑、公園内に建立（D）
- 横浜地方裁判所竣工（M）
- 海岸通の横浜海洋会館・横浜貿易会館が竣工（M）

1930（昭和5）

- 1 省線桜木町・高島町間の高架工事完成、高島口駅廃止（A）
- 3 山下公園開園式（A）
- 3 中華駐日聖公会、山下町に竣工、献堂式（A）
- 4 市、最初の復興記念祭（A）
- 4 市バス、桜木町車庫使用開始（J）
- 4 湘南電気鉄道、黄金町・浦賀間開通（A）
- 6 横浜貿易新報社主催商工祭、広告仮装行列（A）
- 6 間門小学校に林間学校開設、入学式（A）
- 6 元町プール開場式、日比国際競泳試合開催（A）
- 7 湘南鉄道会社、横浜駅・黄金町間連絡バス運転開始（A）
- 10 桜木町駅頭的人力車、自動車の氾濫に押され29台中20台が廃業と決定（A）
- 10 鶴屋改め松屋呉服店、吉田橋畔に新築開業（A）
- 11 横浜地方裁判所竣工式（A）
- 12 横浜・シアトル両市交歓のバラ、三島丸と日枝丸で到着（2000本）（A）
- 12 休業中の住吉町の料亭千登世、復活開業（A）
- 12 山下町地先埋立地2万827坪を同町に編入（A）
- 12 新築の明治屋、尾上町5丁目に開業（A）
- 海岸通のエキスプレスビル竣工（M）

元町公園開設 (O)
本町旭ビル竣工 (M)

1931 (昭和6)

- 2 市営大弓場、元町プール上に完成、開場式 (A)
- 2 南吉田・不老・翁・扇・松影の各町で新町名地番実施 (A)
- 3 海岸教会開教50周年記念伝道大会 (A)
- 3 三井銀行横浜支店、本町2丁目に新築落成、開業 (A)
- 4 伊勢佐木町の森永キャンデーストア、改築落成 (A)
- 5 越前屋新館 (8階建)、伊勢佐木町通りに開店 (A)
- 7 新山下町から北方町へ通ずる見晴トンネル開通 (A)
- 11 米大リーグ選抜チーム、横浜公園球場で全横浜と対戦 (A)
- 12 京浜電気鉄道、湘南電気鉄道各分界点間 (横浜・黄金町間) 開通 (A)
- 12 高島屋十銭ストア、伊勢佐木町に開店 (A)
- 12 日本で最初のチンドン屋、大オンパレード、伊勢ブラの宵を賑わす (A)
イギリス領事館 (現・開港資料館旧館) 竣工 (M)
山手聖公会竣工 (M)

1932 (昭和7)

- 1 市内50か町で町名町界地番を変更改称 (A)
- 3 東京横浜電鉄、高島町・桜木町間開通 (A)
- 4 海岸通5丁目地先埋立地1115坪を同町に編入 (A)
- 5 越前屋、営業不振から臨時休業、11月破産 (A)
- 5 入船町・新港町地先埋立地9106㎡を入船町・北仲通6丁目・海岸通5丁目に編入 (A)
- 7 開港記念横浜会館で佐藤美子帰朝披露独唱会 (C)
- 7 近代的粋をこらしたアパート〈互楽荘〉、山下町に竣工 (A)

- 7 元町と北方・上野町を結ぶ代官坂隧道開通 (A)
- 7 末広町1丁目に麿川敷3万9776㎡を編入 (A)
- 10 横浜線電化開通祝賀会、桜木町・原町田間直通電車開通 (A)
- 10 中区の区勢振興を図る横浜中興会設立 (A)
- 11 県下男女学生5000人、横浜公園球場で最初の体操競技大会開催 (A)
- 12 越前屋、商号を山越に変更して開店 (A)
- 12 市弁天通商業組合設立 (市内最初) (A)
昭和ビル・キッコーマンビル竣工 (M)

1933 (昭和8)

- 1 中区長、日米親善に貢献したスタンダードオイル会社横浜支店副支配人に表彰状・日本画を贈呈 (A)
- 2 第一世煙突男・田辺潔、山下橋下に死体で発見される (A)
- 3 海岸教会新築落成、献堂式 (A)
- 3 市バスの桜木町車庫廃止 (J)
- 4 磯子区西根岸町1227坪を中区根岸町芝生台に変更 (A)
- 4 京浜・湘南電鉄連絡、品川・浦賀間直通運転開始 (A)
- 4 中島敦、横浜高等女学校国語教師として赴任 (A)
- 4 本牧・根岸・山元・北方・西根岸町5町の町界町名字名を変更改称 (A)
- 5 吉田橋際の横浜ビル全焼 (A)
- 8 越前屋閉店 (A)
- 9 指路教会創立60年講演会 (A)
- 9 尋常江古田小学校、町名変更により校名を山元小学校と改称 (F)
- 9 渡辺はま子、横浜高等女学校音楽教師として赴任 (A)
- 11 横浜高等女学校開校60年祝賀会 (A)
- 11 山手カトリック教会献堂式 (A)
- 11 市長ら、省線延長問題で衆貴両院・鉄道相に運動 (A)
- 11 八聖殿開殿式 (A)

1934（昭和9）

- 3 宮川町の横浜女子商業学校、山手町への移転許可（A）
- 3 新山下町貯木場埋立工事竣工（A）
- 4 英一番館ジャーディン・マセソン商会横浜支店閉鎖（A）
- 4 横浜税関新庁舎竣工式（A）
- 5 警友病院、山下町に完成、竣工式（A）
- 6 デパート鶴屋、伊勢佐木町1丁目の元越前屋跡に開業（A）
- 6 開港記念バザー15周年記念祝典、横浜公園音楽堂で開催（A）
- 6 近代建築の美を誇る香港上海銀行、山下町に竣工、新築落成式（A）
- 7 鶴屋、商号を寿百貨店と変更（A）
- 7 浜自慢五十佳選授賞式、開港記念会館で開催（1位中川の牛肉・2位花見せんべい・3位中島屋の支那饅頭）（A）
- 7 本牧海の家開場（A）
- 8 日本赤十字社県支部、山下町に落成、竣工式（A）
- 9 野沢屋増築完成（A）
- 10 エドモンド・モレルの碑、外人墓地に建設（大理石に建て替え）（A）
- 10 横浜郵便局庁舎、日本大通に竣工、落成祝賀式（A）
- 10 市立聾話学校、花咲町3丁目から宮川町2丁目に移転（A）
- 11 米大リーグ選抜チーム、横浜公園球場で全日本と対戦、21対4で勝利（A）
三菱銀行横浜支店竣工（M）

1935（昭和10）

- 1 山下町の中華料理業者20数軒、中華料理組合発会式（A）
- 3 復興記念横浜大博覧会、山下公園一帯で開催（入場者300万人）（A）
- 4 横浜宝塚劇場、馬車道に開場（A）
- 4 新山下町地先埋立地4万8326坪を同町に編入（A）
- 5 市営貯木場竣工、開場式（A）

- 5 復興博記念全国軟式野球大会、横浜公園球場で開催（A）
- 7 伊勢佐木町入口に金色の王冠門完成（A）
- 7 横浜電気館、映画館として再開（A）
- 7 市乗合自動車、本牧・磯子間を臨時設定（A）
- 7 中村町方面を中心とした第4次町界町名地番整理（A）
- 7 尾上町乗客案内所（市電・市バス）設置（J）
- 10 市乗合自動車、鶴見駅・伊勢佐木町間運転開始（A）
- 12 省線根岸延長期成同盟会、ホテル・ニューグランドで第1回会合開催（A）

1936（昭和11）

- 3 市乗合自動車、保土ヶ谷橋・関内回り線等4線運転開始（A）
- 4 市立女子高等専修学校、山下町に開校（A）
- 4 日米親善のため米国の小学校に贈呈される標本（蘭の一生）披露式、開港記念会館で開催（A）
- 4 日本海員会館、北仲通6丁目に竣工（A）
- 5 《君が代発祥の地》記念碑除幕式、妙香寺で開催（A）
- 5 大棧橋、増築工事竣工、落成式（A）
- 7 横浜銀行集会所落成、太田町より本町2丁目に移転（AM）
- 7 横浜名物《独立祭の花火》復活（A）
- 7 豪雨による地盤陥没のため、伊勢佐木町の不二家工事現場で作業員3人生き埋め（A）
- 7 明治生命横浜支店、新築落成式（A）
- 8 省線延長根岸線の実測開始（A）
- 9 横浜弁護士会、日本大通に設立認可（A）
- 10 中区役所永野出張所設置（A）
- 10 長者町郵便局、長者町5丁目に新築移転、中郵便局と改称（A）
- 10 日本郵船会社横浜支店、海岸通に竣工、落成（A）
- 11 井土ヶ谷・諏訪町方面の町界町名字名変更改称（A）
- 11 県立武道館、横浜公園内に竣工、落成式（A）

1937 (昭和12)

- 2 市乗合自動車、生麦・弁天橋経由・生麦間循環線運転開始 (A)
- 4 中区役所永野出張所廃止 (A)
- 7 花月ニュース劇場、横浜最初のニュース映画館として伊勢佐木町に開場 (A)
- 8 市乗合自動車、根岸豆口・保土ヶ谷橋線運転開始 (A)
- 8 中国総領事、在浜中国人に対し引き揚げ準備を通牒 (A)
- 9 銀座オリンピック支店、吉田橋畔に開店 (A)
- 9 新山下町貯木場地先海面にヨット・ハーバー完成 (A)
- 10 市会調査委員会、省線延長を原案どおり根岸埋立を条件付きで承認 (A)
- 10 秋季根岸競馬第1日、劈頭の大穴 (A)
- 10 省線延長、事変の影響で3年後の実現不可能となる (A)
- 10 日本通運横浜支店、弁天通6丁目に設立 (A)
- 10 陸軍省、磯子区と中区の一部に軍機保護法適用 (区域内の撮影・模写等禁止) (A)
- 11 天沼のキリンビール跡に記念碑建立、除幕式 (A)
イギリス領事官邸 (現・イギリス館) 竣工 (M)

1938 (昭和13)

- 1 鉄道会議、省線延長問題につき予定通り昭和17年度完成を決定 (A)
- 4 町名変更により北方小学校の位置は諏訪町になる (F)
- 4 本牧漁業組合、昭和産業横浜工場による海苔被害補償問題で訴訟提起を決定 (A)
- 5 根岸競馬最終日、8時間の総入場人員14万5148人、売上高999万9920円 (A)
- 7 伊勢佐木町のオデヨン座、日活館のネオン消滅 (A)
- 7 花月劇場、新興封切館として伊勢佐木町に開館 (A)
- 8 ナチス親善使節ヒトラー＝ユーゲント30人、グナイゼナウ号で来日 (A)

- 9 ヒトラー＝ユーゲント、視察旅行を終え来浜、横浜公園音楽堂で交歓 (A)
- 9 伊勢佐木町1丁目の金港舞踏場閉鎖、カフェー (金港サロン) に転業 (A)
- 10 住吉町のオリエンタルダンスホール閉鎖、ニュース劇場への転向を願出 (A)
- 10 弁天通会、道路両側の街路灯撤去作業を開始 (A)

1939 (昭和14)

- 7 横浜貯金局、伊勢佐木町の元相模屋跡に開業 (A)
- 12 在留インド商、震災時の世話に対する御礼として、山下公園に水飲み場を建築し寄贈 (A)

1940 (昭和15)

- 1 鉄道省、桜木町線の延長問題につき継続工事の実施を決定 (A)
- 1 特別消防観閲式、吉田橋際で開催 (A)
- 9 横浜中国領事館再開、開館式 (A)
- 9 航空思想展覧会、野澤屋で開催 (A)
- 9 国民防空展覧会、松屋で開催 (A)
- 10 伊勢佐木町繁華街の閉店時間を繰り上げ、午後10時とする (A)
- 10 山下町のフロリダ等3舞踏場閉鎖 (A)
- 10 都留仙次、フェリス和英女学校長に就任 (最初の日本人校長) (A)
- 12 山下町に残る最後のダンスホール「インターナショナル」、廃業申請 (A)
- 12 山手のインターナショナルスクール、在留英米人の引き揚げで閉鎖 (A)

1941 (昭和16)

- 1 伊勢佐木町商店街、9時閉店実施 (A)
- 3 衛生組合解散 (H)
- 3 文部省、フェリス女学校を横浜山手女学院に名称変更の件認可 (A)
- 4 末広町2丁目地先埋立地1913坪を同区域に編入 (A)
- 5 市報国農園鋤入式、山下町の市有地で開催 (A)

- 10 小港町1丁目地先埋立地1万740坪を同区域に編入(A)
- 12 日本軍、マレー半島に上陸開始。ハワイ真珠湾空襲開始。対米英宣戦布告(A)
- 12 在浜華僑青年、伊勢佐木町博雅亭で横浜華僑東興会発会式を挙行(A)

1942 (昭和17)

- 1 開港記念横浜会館で銃後奉公国民総進軍大会(C)
- 3 中区役所、港町1丁目より桜木町1丁目の興産館へ移転(A)
- 6 三井信託横浜出張所、馬車道通に開店(A)
- 6 大日本飛行協会横浜飛行訓練所、中区根岸町で開所式(A)
- 8 在浜インド人、山下町の印度人倶楽部で集会。祖国の独立運動絶対支持を決議(A)
- 8 市民博物館、中区老松町に開館(震災記念館廃止)(A)
- 9 横浜憲兵隊本部、山下町の新庁舎へ移転(A)
- 10 インド連盟横浜支部、山下町77番のインド寺院で独立達成祈念(A)
- 10 根岸での最終競馬(L)
- 11 新港ふ頭でドイツ船ウッケル=マルク号爆発(A)
- 12 伊勢佐木町通入り口の鉄製アーチ応召、解体に着手(A)
- 12 本町の骨董美術商サムライ商会、50年の歴史に幕を閉じ閉店を決定(A)

1943 (昭和18)

- 1 在浜インド人、独立記念日に山手のインド倶楽部で母国の独立達成を祈念(A)
- 1 在浜華僑、対米英宣戦祝賀会を中華会館で開催(A)
- 1 市、山手外人墓地の鉄扉を回収(A)
- 2 小港ホテル組合、名称を山手旅館組合と改称(A)
- 3 吉野町・山下町厚生作業所廃止(A)
- 3 京浜在住イタリア人70人、山手のイタリア領事館でファシスト党結党24周年記念式(A)
- 3 本牧小港チャブヤ街の第1第2キヨホテル、

- 産業戦士憩いの家に提供のため廃業(A)
- 3 本牧保健所廃止(A)
- 5 横浜共立女子神学校閉鎖(A)
- 5 横浜水上・加賀町の2警察署を併合、横浜臨港警察署を新設(A)
- 5 市、時局に鑑みこの年の開港記念日の休日取り止めを通牒(A)
- 5 千代崎町2丁目町内会、夜警挺身隊を出動(A)
- 6 根岸競馬場閉場式、80年の歴史に終止符(A)
- 6 桜木町駅に36人の女子駅務員を配属(A)
- 7 市会、中区分割案(南区新設)を可決、12月設置(A)
- 10 石川町の大丸谷ホテル街、〈産業戦士憩いの家〉に転向(A)
- 12 相生町3丁目の料亭八百政、廃業(A)

1944 (昭和19)

- 2 関内食堂、県下の先鞭を打って雑炊食堂に転向(A)
- 2 山下町に臣道高等女学校設立認可(A)
- 2 燈台局、海運局から独立復活、開庁式(A)
- 3 県、横浜常設館・世界館・花月小劇場の3月限りでの閉鎖を決定(A)
- 3 小港のスターホテル閉店(A)
- 3 松屋、寿百貨店と合併(A)
- 3 中区疎開協力委員会の発会式挙行(A)
- 4 松屋、営業再開(A)
- 4 常盤町等町会経営の雑炊食堂出現(A)
- 4 増産開墾式、横浜公園球場で開催(A)
- 4 中区・神奈川区の区域を分割し西区を新設(A)
- 5 各区役所に戦時勤労斡旋所設置(A)
- 6 伊勢佐木署、繁華街の買い物行列に解散命令(A)
- 6 伊勢佐木町2丁目竹内牛肉店跡に、寄港海軍部隊の無料休憩所並びに宿泊所開店(A)
- 10 市八紘寮、本牧大里町に開寮(A)

1945 (昭和20)

- 2 市内4か所のうち千代崎方面空襲 (G)
- 3 区役所に物資課を設置、生活必需物資配給関係事務を分掌 (A)
- 4 B29、夜間空襲、各区に被害 (A)
- 5 B29、500機、横浜を大空襲 (A)
- 6 学徒隊結成協議会、本町国民学校で開催 (A)
- 6 市電、麦田・中央市場間運転復旧 (A)
- 6 本牧三之谷、本牧大里町、本牧元町の一部空襲 (G)
- 8 戦争終結の詔書を放送 (A)
- 8 山手町の横須賀海軍病院横浜分院閉鎖 (A)
- 8 連合軍進駐に伴い、北仲通等の住民立ち退き・焼け跡整理を実施 (A)
- 8 連合国最高司令部 (GHQ) を横浜海運局に設置 (A)
- 8 県、連合国先遣部隊の進駐に伴い、互楽荘に慰安施設を開設 (A)
- 8 マッカーサー元帥、ホテル・ニューグランドに到着 (A)
- 8 花園橋検問所で警戒中の巡查、連合国警備兵より発砲を受け重傷 (A)
- 8 三之谷を通行中の市民、米兵に飴1個と腕時計の交換を強いられる (A)
- 9 米兵、加賀町警察署警官の佩剣を奪取 (A)
- 9 米兵、曙町で無銭登樓したうえ現金7000円を強奪 (A)
- 9 自殺未遂の東条大将、本牧の大鳥国民学校の横浜米軍病院に収容 (A)
- 9 オートジャイロ、本町付近の空地から飛び立つ (A)
- 9 オデロン座、米第8軍に接収されオクタゴン劇場と改称 (A)
- 9 横浜小学校、駐留軍に接収される (E)
- 9 旧根岸競馬場、米軍が接収 (L)
- 9 第8軍、開港記念横浜会館を接収。正面入り口に第8軍のマーク (C)
- 9 駐留軍、寿小学校の校舎を接収 (E)
- 9 米兵、仲尾台の高射砲陣地で日本監視兵の制止をきかず、歩兵銃等を強奪 (A)
- 10 中華街復旧 (A)

- 11 伊勢佐木町3丁目商店街 (松竹・相模屋間) の敷地割り当て決定 (A)
- 11 横浜マーケット、野毛通に開店 (A)
- 11 市民慰安のため野毛山娯楽街建設、興行所を6か所建設 (A)
- 12 関内食堂、馬車道鎌倉ビルに開店、戦災者に海藻麵販売 (A)

1946 (昭和21)

- 1 伊勢佐木町1・2丁目商店街、復興のため新興会組織 (A)
- 1 横浜小学校、進駐軍に接収され廃校 (A)
- 1 市戦災同盟主催横浜市民大会、本牧会館で開催 (A)
- 2 グランドカフェー〈新世界〉、日ノ出町駅前に開店 (A)
- 2 寿小学校が南吉田小学校に統合 (E)
- 3 旧円最後の日、南京町・青空市場、札びらで人いきれ (A)
- 3 発疹チフス続発、横浜駅と桜木町駅で省線乗客にDDT撒布 (A)
- 4 伊勢佐木町子育て地蔵の緑日復活 (A)
- 5 横浜公園球場、米第8軍に接収されゲーリック球場と改名 (A)
- 5 野沢屋、吉田町仮営業所開店 (A)
- 6 横浜税関、海務局から独立、商工奨励館の仮庁舎で開庁式 (A)
- 6 戦後初のハマ展、本町国民学校で開催 (A)
- 7 GHQの指令で横浜正金銀行解体 (G)
- 7 加賀町署、MP協力のもとに闇の女一掃に乗り出し39人検挙 (A)
- 7 加賀町署、MP協力のもとに青空市場等を手入れ、闇商33人検挙 (A)
- 8 クリフサイド山手舞踏場、代官坂に開場 (A)
- 8 加賀町署、浮浪者285人を新興クラブに収容 (A)
- 8 鉄道会議、桜木町・北鎌倉間鉄道当年度着工につき1年繰り延べを決定 (A)
- 8 米第8軍のカントリーフェア、横浜裁判所広場から開港記念会館にかけて郷土色豊かに展開 (A)
- 9 伊勢佐木町復興祭開催 (A)

- 9 山手に進駐軍家子弟の学校セント＝ジョセフ＝カレッジ開校（A）
- 9 中華街露店に閉鎖命令（A）
- 10 日本婦人福祉協会発会式、旭台の三田千鶴女史宅で開催（A）
- 11 各区に塵芥取扱所設置、汚物の搬出再開（H）
- 11 吉田町商店街新興会、復興祭举行（A）
- 11 貿易庁横浜地方事務局、吉浜橋の旧女子専修学校内仮事務所に開所（A）
- 11 野毛通りに折畳天幕露店（ブランタリ・チェンストア）出現（A）
- 12 横浜正金銀行山下町出張所開店（A）
- 12 各区に民生委員事務所を設置（A）
山本周五郎、本牧に移住（A）

1947（昭和22）

- 2 引き揚げ同胞横浜連合会創立総会、野毛の萬栄楼で開催（A）
- 4 吉田小学校、本町小学校に統合され廃校となる（E）
- 4 吉田小学校、新学制により校舎は吉田中学校として転用される（E）
- 4 吉田中学校、羽衣町に開校（F）
- 4 日本厚生団ボーイズホーム、日ノ出町に開設（A）
- 4 北方小学校内に北方中学校（港中学校の前身）が開校（F）
- 4 本牧小学校は間門小学校に統合、校舎は接収されアメリカンハイスクールとなる（E）
- 4 町内会、連合町内会の行政事務を区に移管。各町内会単位で689ヶ所に区役所出張員事務所、また各連合町内会単位で98ヶ所に区役所出張員連合事務所を新設（U）
- 5 横浜地方検察庁開庁（A）
- 5 市、自治会解散対策決定、旧連合町内会の区域に豆区役所（出張員事務所）69ヶ所設置（A）
- 5 新憲法施行記念式典、野毛町国際劇場で開催（A）
- 5 立野小学校は元街小学校に統合される（F）
- 6 横浜正金銀行、閉鎖機関に指定され68年の歴史に幕（A）

- 6 山手署、本牧八王子海岸に上陸した朝鮮人密航団25人を逮捕（A）
- 6 市主催各区対抗市内一周駅伝競走復活（A）
- 7 県下飲食店業者、全国一斉休業を控え山下町のキャバレー・ヨコハマで大会開催（A）
- 7 県経済復興会議結成大会、吉浜橋のYMCAで開催（A）
- 8 市、機構改革。区役所に調査、教育、民生、衛生の課を新設（U）
- 8 貿易庁横浜地方事務局開所式（A）
- 8 本牧神社鎮魂祭、例年のお馬送りの儀式を兼ね執行（A）
- 9 区に教育課を新設（F）
- 10 伊勢佐木署、野毛のカストリ横町を一斉摘発（A）
- 10 現代大家新作油絵展、野毛町大雅堂ギャラリーで開催（A）
- 10 渡辺はま子、歌手を廃業、上野町に花屋『パインクレスト花園』開業（A）
- 11 横浜地方検察庁、野毛マーケット・伊勢佐木商店街等を中心に勢力をふるう肥後一家幹部6人を検挙（A）
- 11 野毛商店商業（協）理事長肥後盛造ら6協同組合理事長、マーケットの民主化のため辞職を余儀なくされる（A）
- 12 市・神奈川新聞社共催の第2回オールヨコハマ芸能コンクール、国際劇場で開催（A）
旧横浜小学校の校舎を市立第一女子商業学校（港高校の前身）が使用（E）

1948（昭和23）

- 1 市と華僑総会の懇親会、戦後初めて開催（A）
- 2 消防局、日本大通の中消防署内に移転（A）
- 3 横浜地検・専売局、野毛露天商街と伊勢佐木町の闇タバコ屋を急襲、16万本押収（A）
- 4 横浜地検、加賀町署を指揮し闇マーケットの根城中華街の料理店を捜索（A）
- 4 軍政部、節電に協力しない中華街への送電を中止（A）
- 4 市緑化週間、本町小学校で植物祭開催（A）
- 4 大鳥中学校が北方小学校内に開校（F）
- 4 北方中学校、山下町横浜小学校跡へ移転し港

- 中学校と改称 (F)
- 5 伊勢佐木署、野毛祭りと伊勢山皇太神宮祭を目当てに集まるダンスケを一斉手入れ (A)
- 5 市警、国際劇場で上演中の〈南国ショー〉を臨検、ターザンと裸女群に出演した4人を検挙 (A)
- 5 中区遺族会が発足 (G)
- 5 美空ひばり、横浜国際劇場の芸能コンクールに歌手としてデビュー (A)
- 5 野毛祭り復活 (A)
- 6 初の夜間野球公開試合 (慶大・立大戦)、ゲーリック球場で開催 (A)
- 7 民生委員事務所、17ヶ所に設置 (U)
- 7 ゲーリック球場で戦後初のプロ野球試合 (南海対金星) 開催、南海勝利 (A)
- 7 各区対抗自転車競技大会、第1高女で開催 (A)
- 7 根岸に少年窃盗団、中学生ら13人検挙 (A)
- 8 プロ野球初のナイター、ゲーリック球場で開催 (巨人対中日) (A)
- 8 伊勢佐木町7丁目の縁日復活を祝し、素人演芸大会開催 (A)
- 9 ヘレン＝ケラー女史記念講演会、横浜公園音楽堂で開催 (聴衆数千人) (A)
- 9 市立第一女子商業学校、横浜商業学校へ移転し、その後を港中学が使用 (E)
- 9 第一銀行横浜支店、本町5丁目の旧館に復帰 (A)
- 9 貿易博覧会起工式、野毛山第一会場で挙行 (A)
- 10 区の教育課を廃止、教育出張所となる (F)
- 10 市会、桜木町駅前の浮浪者宿泊所設置費360万円等の追加予算を可決 (A)
- 11 大鳥中学校、本牧町1丁目に移転 (F)
- 12 日本海員掖済会横浜病院増築完成、開業 (A)
- 12 野毛マーケット火事、23戸全半焼 (A)
- 春 山本周五郎、旅館間門園に移転 (A)
- 1 横浜繊維品検査所、山下町に落成、祝賀式 (A)
- 1 市労連、48時間勤務制に反対 (A)
- 2 横浜地検、旧庁舎へ復帰、開庁式 (A)
- 2 香港上海銀行横浜支店再開 (A)
- 2 犯罪科学研究所、蓬萊町に完成、落成式 (A)
- 3 県・市共催日本貿易博覧会、野毛・反町2会場で開催 (～6.16) (A)
- 3 市警、貿易博覧会に横行する闇の女833人を検挙 (A)
- 3 市警、野毛山・反町の貿易博覧会会場に横行する浮浪者753人を検挙 (A)
- 3 日雇い労働者柳橋集合所、港町に開設 (A)
- 4 大鳥中学校、山下町の港高校内に移転 (F)
- 4 米第8軍横浜地域部隊記念日、米軍2000人、長者町5丁目・日本大通間を行進 (A)
- 6 公設ビヤホール再開、市内に15店開店 (大ジョッキ156円、小ジョッキ100円) (A)
- 6 国民金融公庫横浜支所、尾上町に開所 (A)
- 7 第1回ミナト・ヨコハマ花火大会、吉田橋・柳橋間の大岡川畔で挙行 (A)
- 8 自由労働者200余人集まり、横浜自由労働組合結成準備大会を中区役所前広場で開催 (A)
- 8 第2回ミナト・ヨコハマ花火大会、花園橋際広場で開催 (A)
- 8 中華街復興祭 (A)
- 8 野毛山プール完工式 (A)
- 9 伊勢佐木町裏接收地 (飛行場1万486坪) の整備基本方針決定 (A)
- 9 県営場外馬券売り場、マッカーサー劇場隣に店開き (A)
- 10 ヘボン博士記念碑、谷戸橋畔の邸跡に完成、除幕式 (A)
- 10 市警、ヒロボンの一斉取締開始 (A)
- 10 戦後初の日米野球試合 (横浜コマンド対横浜OHチーム)、ゲーリック球場で開催 (A)
- 10 中根岸の日赤病院増築工事完成、完工式 (A)
- 12 横浜税務署、横浜中税務署と改称 (A)
- 12 市会、市庁舎の貿易博覧会反町会場跡地への移転を正式決定 (A)
- 12 初の日米交歓バスケットボール大会、横浜フ

1949 (昭和24)

- 1 横浜レクリエーション協会発足 (A)
- 1 横浜家庭裁判所発足 (A)

ライヤージムで開催（A）

吉田橋畔に、全館未亡人からなるキャバレー
（メリーウィドーサロン）誕生（A）

1950（昭和25）

- 1 桜川埋立工事で立退きを迫られるガス橋寄りの数軒、無断で埋立てた同橋反対側に移転（A）
- 1 尾上町・馬車道一帯接収解除（A）
- 2 横浜山手女学院の校名変更認可、フェリス女学院と改称（A）
- 2 横浜税関、紅葉ヶ丘庁舎から西波止場仮庁舎へ移転（A）
- 3 勤労者福祉館、柳橋際に完成、開所式（A）
- 3 第1回横浜見本市、松屋別館で開催（A）
- 3 中区赤十字奉仕団が発足（G）
- 4 横浜地裁、旧庁舎へ復帰（A）
- 4 中区根岸町新埋立地に米第8軍連絡用飛行場開設、初使用式挙（A）
- 5 開港記念バザー、若葉町の旧飛行場跡地で開催（A）
- 6 市、中小企業相談所を中区役所内に設置（A）
- 6 本牧チャブ屋40軒復活（A）
- 7 市民納涼の夕べと花火大会、若葉町の旧飛行場跡地で開催（A）
- 7 野毛お不動さま縁日復活（A）
- 8 各区役所に民生安定所を設置（A）
- 8 市、山元町ほかに家庭内職あっせん所設置（A）
- 9 本町小学校等市内13小学校でガリオア資金による完全給食実施（A）
- 10 国税局横浜常設公売所、曙町に開設（A）
- 11 横浜体育祭、フライヤージムで開催（A）
- 11 市庁舎、反町の貿易博跡に移転（A）
- 12 伊勢佐木町3～5丁目に昔懐かしいネオン・アーチ復活（A）
- 12 横浜ビル、海岸通3丁目に完成、完工式（A）
- 12 見晴トンネル整備事業、都市計画決定（P）

1951（昭和26）

- 1 水上ホテル海神丸、大岡川で転覆、宿泊中の自由労務者423人のうち死者7人（A）
- 3 湘南百貨店、伊勢佐木町4丁目が開業（A）
- 3 市立結婚相談所、松喜屋デパート内から湘南百貨店内に移転（A）
- 4 市長選挙、平沼亮三氏当選（U）
- 4 伊勢佐木町でネオン祭、1丁目から7丁目までアーチ6基等を点灯（A）
- 4 桜木町で国電火災、死者106人（桜木町事件）（A）
- 4 第5期軍要員文化研究室、大島中学校・山元小学校に開設（A）
- 4 中区社会福祉協議会が発足（G）
- 4 中区体育協会が発足（G）
- 5 野毛商店街入口のネオンアーチ完成、点灯（U）
- 6 中保健所が山下町に完成し、各区に一保健所体制できる（V）
- 6 市警、京浜急行黄金町ガード下にたむろする夜の女70人を検挙（A）
- 7 伊勢佐木町4丁目商店街、中元売り出しで横浜駅間に送迎バス運転（A）
- 7 県住宅公社第1号アパート（大和町）の入居申し込み受付開始（A）
- 7 野毛山遊園地開園（A）
- 8 末吉町でラジオの騒音から隣人を刺殺（A）
- 11 慈善プロレスリング興行、フライヤージムで開催（A）
- 11 市、堀割埋立て第1期工事として錦橋～都橋間を埋立て（U）
- 11 野毛カストリ横丁98軒の撤去開始（A）
- 11 野毛山遊園地にゴム・ローラー・スケート場開場（A）
- 12 横浜税関庁舎、新山下町の新庁舎に移転（A）
- 12 新山下町貯木場前面のブイ4個接収解除（A）
- 12 第1回レコードコンサート、尾上町の物産安定会館で開催（A）
- 12 入国管理庁横浜出張所、山下町に完成、開庁式（A）

1952 (昭和27)

- 2 横浜港内海面接收解除 (A)
- 2 大相撲横浜場所、横浜テアトル裏で開幕 (A)
- 2 南棧橋 (大棧橋) 接收解除 (A)
- 2 日本国連協会横浜支部中分会が発足 (G)
- 2 野毛地区商店街、協同組合を結成 (A)
- 3 横浜終戦連絡調整事務局閉鎖、三溪園でお別れパーティー開催 (A)
- 3 海上保安庁ビル、大棧橋入り口に竣工、落成式 (A)
- 3 在日兵站司令部、日綿ビルの接收解除 (A)
- 4 水上警察署設置 (V)
- 4 ゲーリック球場・山手テニスコート・元町プール・ヨットハーバー接收解除 (A)
- 4 交通局のワンマンカーバス、保土ヶ谷・棧橋間に運行開始 (A)
- 4 氷川丸、10年ぶりに乗客を乗せて米国へ向け出帆 (A)
- 4 野毛小唄発表会、野毛山遊園地野外劇場で開催 (A)
- 5 伊勢佐木町1丁目の野沢屋、建物接收解除につき陳情書提出 (A)
- 5 旧ゲーリック球場を平和球場と命名、開場式 (A)
- 5 特別調達局、弁天通5～6丁目一帯の接收地を解除 (A)
- 5 特別調達局、野沢屋前の空き地を接收解除の旨内示 (A)
- 6 ホテル・ニューグランド接收解除 (A)
- 6 国産自動車展示会、伊勢佐木町の旧飛行場跡で開催 (A)
- 6 神奈川県共同募金会中区支会が発足 (G)
- 6 特別調達局、中区の外国人所有の土地2万1000坪を接收解除の旨市に内報 (A)
- 7 港湾関係者の福利厚生施設海員会館、吉浜町に完成、竣工式 (A)
- 7 若葉町 (旧飛行場) 接收解除 (A)
- 7 住民登録実施 (A)
- 8 桜川埋立工事で撤去された露店業者を收容する桜木町デパート起工式 (A)
- 9 中区保護司会が発足 (G)

- 10 インド商社街復活落成祝賀式、横浜商工会議所で開催 (A)
- 10 県、桜川公有水面8826坪の工区分割施行を許可 (A)
- 10 県・市、桜木町周辺の浮浪者対策に着手 (A)
- 11 フライヤージムで横浜ジャズまつり開催 (A)
- 11 横浜演劇祭、野毛山小劇場で開催 (A)
- 11 市の防火帯建築助成第1号港ビル、海岸通に新築落成 (A)
- 11 市民芸能祭、野毛山小劇場で開催 (A)
- 11 接收解除の松屋デパート、伊勢佐木町に復帰開店 (A)
- 11 相生・常盤・太田・住吉・弁天・尾上各町の5・6丁目接收解除 (A)
- 12 この頃、関内地区米軍兵舎の取り壊しが行われる (A)
- 12 港電話局、山下町に着工 (A)
- 12 市、国鉄桜木町・大船間延長問題に着手、市幹部、運輸大臣に懇請 (A)
- 12 全市の豆区役所 (地区事務所) 廃止 (A)

1953 (昭和28)

- 1 海岸通2丁目の三菱倉庫、接收解除 (A)
- 2 市民の声を反映するため、区役所・出張所・保健所に公聴箱設置 (A)
- 2 野毛カストリ横丁の露店を收容する桜木町デパート、中区役所裏桜川埋立地に完成、落成式 (A)
- 3 相生・常盤・太田・住吉・弁天・尾上の6町の1～3丁目接收解除 (A)
- 3 野沢屋、1階 (米軍レストラン) を除き接收解除される (A)
- 4 北仲通のアメリカ文化センターの建物、日本海員組合に返還 (A)
- 4 長者町他4か町地内の日ノ出川の埋立免許を告示 (A)
- 4 アメリカ文化センター、山下町の南里ビルに移転、開館式 (A)
- 5 元街小学校立野分校開設 (F)
- 5 長者町8・9丁目西側接收解除 (A)
- 6 キング・オブ・ジャズ祭り、フライヤージムで開催 (A)

- | | | | |
|----|--|----|----------------------------------|
| 6 | 横浜PX、本牧に開業（松屋の全面解除による代替）（A） | 3 | 馬車道会館、住吉町に完成、落成披露式（A） |
| 6 | 関内・関外・岡野・東神奈川接收解除地整備事業起工式、伊勢佐木町千秋橋際で挙（A） | 4 | 開国百年記念式典、フライヤージムで挙（A） |
| 6 | 国際仮装行列、市内を練り歩く（A） | 4 | 市、英一番館等史跡11か所を顕彰、各所に石柱記念碑を建立（A） |
| 7 | 伊勢佐木町の松屋、4階まで接收解除、8月全館解除、返還式（A） | 4 | 寿町・扇町の各2・3丁目接收解除（A） |
| 8 | 三溪園保勝会設立認可（三溪園の再建軌道に乗る）（A） | 4 | 日本郵船ビル接收解除、引き渡し式（A） |
| 8 | 蓬萊清掃出張所復旧再開（H） | 5 | 開国百年記念「国際音楽コンクール」、フライヤー・ジムで開催（A） |
| 9 | 市港湾労働会館、大棧橋入り口に完成、開館式（A） | 5 | 山下ふ頭完工式挙（A） |
| 9 | 松喜屋新館落成、祝賀式（A） | 5 | 市立港高校、山下町に設立認可（A） |
| 10 | ホースネック画廊、港町のオリンピック横に開設（A） | 6 | 山下公園の一部返還調印（A） |
| 10 | 伊勢佐木町松屋デパート、全館開店（A） | 6 | 市立南高校、山下町に設置（A） |
| 10 | 国際電信電話横浜営業所、常盤町に開局（1962年山下町に移転）（A） | 6 | 神奈川条約締結記念碑除幕式、大棧橋入り口で挙（A） |
| 10 | 日雇労働者大棧橋集合所開設（A） | 8 | マッカーサー劇場、突如休館、全従業員解雇（A） |
| 10 | 米極東陸軍司令部の座間移転開始（A） | 10 | 海岸通の日本郵船ビル、2階の一部を除き全面接收解除（A） |
| 11 | 税関ビル接收解除、引き渡し式（A） | 10 | 野沢屋1階の一部・中2階・地階の接收解除（A） |
| 11 | 本町5丁目付近接收解除（A） | 12 | 湘南デパート、営業不振で再度閉店（A） |
| 12 | 桜木町駅前商店会のアーケード完成、落成式（A） | 12 | 読売ニュース劇場、伊勢佐木町2丁目に開館（A） |
| 12 | 米軍厚生施設フライヤー・ジム、伊勢佐木町から横浜公園に移転（A） | 12 | 野沢屋1階売場開場、県下で初めてエスカレーターお目見え（A） |

1954（昭和29）

- 1 寿町・扇町の各1丁目、接收解除（A）
- 1 立体総合社交場横浜ダイヤモンド会館、本町に開店（A）
- 2 県消防学校、山下町に設置（A）
- 2 県中小企業会館、尾上町で起工式（A）
- 2 桜木町駅前商店街の立ち退き開始（A）
- 2 日米合同演奏会、横浜公園内のフライヤージムで開催（A）
- 3 横浜税関、旧庁舎に移転（A）
- 3 翁町・扇町の各1丁目、接收解除（A）
- 3 三溪園、新装開園（A）
- 3 日米プロレス横浜大会、フライヤージムで開催、シャープ兄弟、力道山遠藤組を破る（A）

1955（昭和30）

- 2 中華街薩摩町寄りの入口に日本で初めての牌楼完成、落成式（A）
- 3 近代様式を誇る市立大鳥中学校、本牧町4丁目に完成、落成式（A）
- 3 市電根岸線（間門・八幡橋間）運転開始（A）
- 3 中小企業会館、尾上町に完成（A）
- 4 統一地方選挙、市長に平沼亮三氏再選（U）
- 4 テアトル横浜、伊勢佐木町通に新築開場（A）
- 4 山下町のシェル石油日本本社、閉鎖、東京に移転（A）
- 4 中区商店街連合会が発足（G）
- 4 野毛仲通40店舗、戸ごとに柳を植え柳通と改名（A）

- 6 横浜吉本劇場、元マッカーサー劇場に新装開場（A）
 - 7 横浜中央電話局港分局、山下町に開局（A）
 - 7 根岸競馬場接收解除促進準備会、尾上町の横浜会館で開催（A）
 - 7 桜木町民衆駅建設問題で発起人側、国鉄と懇談（A）
 - 8 桜川埋立新道開通（A）
 - 8 桜川埋立地の住民、生活安定対策等に関する要求決議文を市に提出（A）
 - 10 横浜公園野球場を横浜公園平和野球場に、横浜プールを元町公園プールに名称変更（A）
 - 10 県水産会館、相生町に落成（A）
 - 11 オクタゴン劇場（旧オデロン座）接收解除（A）
 - 11 吉田橋際の米陸軍病院（旧松屋）等3か所の接收解除（A）
 - 11 日本最古の木造灯台、80年ぶりに現役復帰、北仲通6丁目の第3管区海上保安本部裏広場で点灯式（A）
 - 12 羽衣町・蓬菜町・末広町・伊勢佐木町8720坪を接收解除（A）
 - 12 横浜問屋街、住吉町6丁目・相生町6丁目得起工式（A）
 - 12 旧オクタゴン劇場、横浜松竹として新装開場（A）
 - 12 旧横浜松竹映画劇場、横浜ピカデリー劇場と改称し開場（A）
- 1956（昭和31）
- 1 市、市庁舎敷地問題につき港町の旧市庁舎跡を候補地に決定（A）
 - 1 水上署、災害防止のため吉田橋際の水上ホテル4隻に警告（A）
 - 1 日本住宅公団、野毛山に分譲式公団住宅を起工、9月竣工（A）
 - 2 シルクセンター設立促進委員会発足（A）
 - 2 全国初の公団ビル（1階店舗、2階以上賃貸住宅）、長者町3丁目に着工（A）
 - 2 東横線、高島町・桜木町間複線化工事起工式（A）
 - 2 有隣堂ビル、伊勢佐木町1丁目に竣工、披露式（A）
 - 3 オデロン座、横浜新東宝と改称し、邦画の封切り映画館として登場（A）
 - 3 外務省移住斡旋所、本町の旧横浜証券取引所に開所（A）
 - 3 東宝会館、関内復興の先駆けとして住吉町5丁目に落成（A）
 - 4 元街小学校立野分校が立野小学校となる（F）
 - 4 特別調達局、万代町・不老町・翁町・扇町各3丁目（8272坪）の解除を市に通達（A）
 - 4 米第1騎兵師団司令部、センターピアの接收解除を正式決定（A）
 - 4 「広報よこはま」、町内会を通じ全戸配布開始（U）
 - 5 横浜港センターピアが接收解除（G）
 - 5 横浜初のパート喫茶《このよの花》、伊勢佐木町の亀楽ビルに開店（A）
 - 6 横浜信用金庫本店、真砂町に完成、7月開店（A）
 - 6 関内の接收解除地に共同ビルの建設流行（A）
 - 6 米軍独身将校宿舎、新山下町に完成、開所式（A）
 - 7 山下公園前で第1回国際花火大会開催（A）
 - 8 海岸通りの日本郵船ビル接收解除、返還式（A）
 - 8 県横浜労政事務所、山下町に設立、9月開所（A）
 - 8 市教委、間門・浜の2小学校に夏季臨海保養所開設（A）
 - 8 第1回市民盆踊り大会、福富町の接收解除跡地で開催（A）
 - 8 日本住宅公団、野毛山分譲アパート5棟120戸の入居者募集（A）
 - 8 福富町の全部と吉田町の一部2万78坪、接收解除（A）
 - 9 市議団、山下公園・開港記念会館の接收解除運動開始（A）
 - 9 東横線高島町・桜木町間複線工事完成、開通式（A）
 - 9 問屋ビル、相生町・住吉町の2か所に完成（A）
 - 10 対岸が接收地のため通行止めとなっていた宮

川橋、10年ぶり解除（A）

- 11 伊勢佐木町の松喜屋（赤トーダイ）、増築開店（A）
- 11 伊勢佐木町松屋デパート増築完成、披露（A）
- 11 福富町復興会、接收解除地に町ぐるみの共同建築を計画、中区役所で打合せ会開催（A）
- 12 市の新庁舎、港町の予定地で起工式（A）
- 12 市会、根岸湾海面埋立事業（第1期）を計画決定（A）
- 12 市会全員協議会、桜大線建設促進実行委員会の設立を決定（A）

1957（昭和32）

- 1 横浜興信銀行、横浜銀行と改称（A）
- 1 本牧町4丁目・本牧元町地先埋立地6326坪を市に編入（A）
- 2 不二家、米軍接收の伊勢佐木町同店ビル・土地につき、国を相手に返還請求訴訟を提起（A）
- 3 若葉町町内会幹部、野毛山・同町間にケーブルカー設置を計画（A）
- 3 新港ふ頭の移動式架橋完成（A）
- 4 山下町にアメリカ文化センター（館長：モリス・リー）開館（A）
- 4 接收解除のバンドホテル、再開披露会開催（A）
- 4 全国港湾荷役振興協議会ビル、元浜町に完成（A）
- 5 強風下、中華街で11棟焼失（A）
- 5 市中心部接收解除に伴うビル建築あいつぐ、市復興課への1か月の建築計画116件（A）
- 5 日本飲料、北仲通の旧ペプシ・コーラ工場でコーラの試作を開始（A）
- 5 馬車道のトーテムポール除幕式（A）
- 6 開港99年併せて根岸線建設を祝う祝賀式典、新港ふ頭上屋で開催（A）
- 6 中区子供会、自衛隊から戦車等を招致し兵器展を計画、市教委・県教組反対（A）
- 6 本牧町4丁目に地先埋立地3704坪、本牧元町に同262坪を編入（A）
- 7 国鉄の根岸線、測量開始（A）
- 7 根岸線の伊勢佐木町駅（駿河橋付近）設置期

成同盟会結成（A）

- 7 根岸地区広報委員会、し尿運搬船の悪臭に悩まされ、船着場の作業中止を市に要望（A）
- 7 野毛商店街（協）、露店の撤去を県・市に陳情（A）
- 8 この頃、桜木町駅民衆駅構想具体化（A）
- 8 市、水上ホテル経営者を招致、撤去を勧告（A）
- 9 横浜測候所を横浜地方气象台と改称（A）
- 9 桜木町駅前ターミナル屋根付き待合所完成（木造）（J）
- 9 山下公園・共立学園内の接收施設、相模原接收地等への移転本決まり（A）
- 10 伊勢佐木名店ビル完成、記念行事開催（A）
- 10 根岸1丁目に1719坪、2丁目に1万465坪、3丁目に8859坪の埋立地を編入（A）
- 10 北林透馬ら文化人100人、ザキの昔を追想しながら「どっこいこころで伊勢ぶら会」開催（A）
- 11 シルクホテル、シルクセンター国際貿易会館内に設立（A）
- 11 県浴場商業協組連、長者町の国際文化会館で適正料金獲得総決起大会を開催（A）
- 11 市内初の建築協定ビル「福富ビル」、福富町に完成（A）
- 11 調達庁、米軍スペシャル・サービス・クラブを接收中の不二家から本町の神栄生糸ビルに増築移転する旨、市に通知（A）
- 12 伊勢佐木町入口の旧松屋ビル、修築工事完成、三和銀行横浜支店開業（A）
- 12 横浜中央教材園に大温室完成、熱帯植物を栽培（A）

1958（昭和33）

- 1 映画館横浜大映、長者町8丁目に開館（A）
- 1 聖光学院中学校、滝之上に設置認可（A）
- 2 伊勢佐木町5丁目で強風により16棟焼失（A）
- 2 根岸線路線内定（桜木町・吉田橋・西の橋付近・根岸海岸・八幡橋・京急屏風ヶ浦駅西南方・日野墓地・大船）（A）
- 2 新山下町の東洋木材で火事、15棟を焼失（A）
- 2 本牧チャブヤ街24軒、風俗営業廃止、旅館と

- しての再出発を決議（A）
- 3 この頃、伊勢佐木町の松屋・松喜屋の各デパート、拡張を計画（A）
- 3 港の見える丘（国有地）に国家公務員住宅具体化、市の公園構想に暗雲（A）
- 3 清正公復活地鎮祭（A）
- 4 県住宅公社ビル、弁天通に完成（A）
- 5 エドモンド・モレル記念碑除幕式、桜木町駅構内で開催（A）
- 5 伊勢佐木町4丁目商店街のネオン塔完成、落成式（A）
- 5 伊勢佐木町の不二家、12年ぶりに接收解除（A）
- 5 開港100年祭開幕（A）
- 5 吉田橋渡り初め式（A）
- 5 三溪園内苑復元工事完成、一般公開（A）
- 6 開港記念横浜会館、接收解除、市に返還（C）
- 6 市庁舎立柱式、工事現場で挙行政（A）
- 7 横浜公園内の米軍体育施設フライヤー・ジム、接收解除（A）
- 7 県歯科医師会館、住吉町に完成、新築落成式（A）
- 7 市警、野毛・伊勢佐木町周辺の深夜喫茶を実態調査、少年162人補導（A）
- 7 本牧三溪園、海開き（A）
- 8 国鉄、根岸線の用地買収に着手（A）
- 9 山下ふ頭建設のための第1次漁業補償解決（A）
- 9 市民弓道大会、元町の弓道場で開催（A）
- 10 山下町地先埋立地8万9854㎡を市に編入（A）
- 11 第2・第3吉田ビル各完成、落成式（A）
- 11 第2次問屋ビル、住吉町5丁目に完成（A）
- 12 シルクセンター国際貿易会館、大棧橋前に開館（A）
- 12 伊勢佐木町1～6丁目間、自転車以外の車両通行禁止（A）
- 12 横浜公園体育館落成式（A）
- 12 横浜生糸取引所大納会、北仲通立会所閉鎖（A）
- 12 県水産指導所内湾支所、本牧沖でのノリ養殖に成功（A）
- 12 市、根岸湾埋立漁業補償を本牧漁協と妥結（A）
- 12 市内初の臨海教室、間門小学校に完成（A）
- 12 中清掃出張所が、港町から松影町へ移転（H）
- ### 1959（昭和34）
- 1 国鉄根岸線着工式、扇町公園で挙行政（A）
- 1 市、7漁協と根岸湾埋立につき漁業補償協定調印、根岸湾問題協議会解散（A）
- 2 市、根岸湾海面埋立事業の免許取得、起工式を根岸中学で開催（A）
- 2 船員サービスセンター、海岸通の横浜海洋会館に開所（A）
- 3 シルクセンター、竣工式（A）
- 3 横浜工業館、日本大通に開館（A）
- 4 統一地方選挙、市長に半井清氏が当選（U）
- 4 横浜線、桜木町駅乗り入れ（A）
- 4 県立武道館、横浜公園内に設立（A）
- 4 山下公園（大棧橋寄り）返還式（A）
- 5 山下公園の貨物線線路敷設計画に、賛否両論（A）
- 6 開港記念会館、装い新たに開館（A）
- 6 山下公園全面接收解除（A）
- 7 花咲町1～7丁目に各地先埋立地編入（A）
- 7 吉田橋交番裏の不法建築6軒を行政代執行により撤去（A）
- 7 山下町地先埋立地1万5045㎡を市に編入（A）
- 7 市、撤去命令を出した大岡川6水上ホテル居住者450人のための移転先斡旋所を中区役所民生安定所内に設置（A）
- 7 扇町・寿町・松影町各4丁目に地先埋立地編入（A）
- 8 横浜海員会館、山下町に竣工、完成式（A）
- 8 吉田町先の大岡川に、ボロボロの食堂船が出現（A）
- 8 元街小学校PTA、同小隣接地（元ドイツ学園用地770㎡）を買収、寄付（A）
- 8 大岡川の残りの水上ホテル2隻も撤去了承（A）
- 8 埋地復興接收解除3周年記念式典、長者町3丁目で開催（A）

- 8 明治の文明開化を偲ぶガス灯、本町小学校に再建（A）
- 9 市庁舎、港町に完成、落成式（A）
- 11 ミス・ユニバース児島明子の歓迎会、本牧の米軍PXで開催（A）
- 11 三溪翁記念碑建立（D）
- 11 第1回中区民芸能祭、長者町の国際文化会館で開催（A）
- 12 根岸湾第2次埋立事業決定（A）

1960（昭和35）

- 2 開港記念会館改修工事完了、開館式（A）
- 3 県勤労会館、寿町に完成、落成式（A）
- 3 三溪園の天授院を重要文化財に指定（A）
- 3 中区更正保護婦人会が発足（G）
- 3 馬車道商店街の隆盛を図る馬車道サービス会発会式（A）
- 4 間門海岸、潮干狩りで賑う（A）
- 4 県・市、文書の左横書きを実施（A）
- 4 山下公園のレストハウス完工式（A）
- 4 中区連合町内会長連絡協議会が発足（G）
- 5 黄金清掃出張所が中清掃出張所内へ移転（H）
- 5 三溪園の創立者原三溪の記念碑、園内に完成、除幕式（A）
- 6 関内牧場、雑草伸び放題、住民、刈り取りを市長に陳情（A）
- 7 市働く青少年憩いの家、桜木町駅脇に完成、開館式（A）
- 8 我が国唯一の客船氷川丸、シアトル・バンクーバーに向け最後の航海につく（A）
- 8 県消防学校、山下町に完成、落成式（A）
- 9 宮川町の簡易宿泊所居住の子供33人中24人が無籍者と判明（A）
- 9 本牧で10年続いた本牧図書館、市内第3番目の「青少年の家」として再生、完工式（A）
- 10 区役所保険年金課設置（U）
- 10 横浜銀行ビル、本町に竣工、完成式、11月開業（A）
- 10 氷川丸、最後の航海を終え帰港（A）
- 12 松喜屋増築完了、完成披露パーティー開催（A）

- 12 水の守護神像除幕式、山下公園で開催（A）

1961（昭和36）

- 1 この頃、根岸線建設に伴い関内地区の8か所でビル工事（A）
- 1 マリントワー完成、完工式（高さ106m）（A）
- 1 野沢屋の増築現場で100年前の人骨23体を発掘（A）
- 3 伊勢佐木町商店街、伊勢佐木町発祥88周年を祝しイセザキまつり開催（A）
- 3 山下町に地先埋立地10万4899㎡を編入（A）
- 3 市港湾局、山下ふ頭への臨港貨物線建設問題で同公園内を高架方式で通す案を採択（A）
- 4 県建設会館、太田町に完成、披露式（A）
- 4 聖光学院高校、滝之上に設置認可（A）
- 5 氷川丸、山下公園に繫留（A）
- 6 伊勢佐木町で歩行者天国実施（G）
- 7 横浜公園野外音楽堂改修工事完成、青少年市民レクリエーション施設として発足（A）
- 7 三溪園海水浴場、根岸湾埋立で濁り目立つ（A）
- 8 この頃、車の増加と規制で、駐車難深刻（A）
- 8 寿町周辺のドヤ街、簡易宿泊所52軒、宿泊者常時5000人（A）
- 9 住吉町の浜銀跡に改装中の中区役所、落成祝賀式（A）
- 10 桜木町駅周辺開発計画審議会、駅前の整備計画を採択（広場の拡大・地下道の新設等）（A）
- 10 市、中区役所の国民健康保険と給与事務を皮切りに、IBMによる計算事務の機械化を開始（A）
- 10 中区役所、桜木町駅前から住吉町に移転（A）
- 10 本牧岬の入国者収容所建設で地元民「観光地にもってのほか」と反対運動開始（A）
- 11 市首脳部会議、桜木町駅周辺開発計画につき桜川新道の延長を決定（A）
- 12 山下橋新装なる（A）
- 相生町のナショナル電化センター建設（A）

1962 (昭和37)

- 1 この頃、関内牧場にビル建設盛ん (A)
- 1 横浜公園体育館、ストーブの不始末が原因で焼失 (A)
- 1 市、交通難緩和のため関内外ほかの駐車規制を実施 (A)
- 1 本牧の海苔、下水処理場の排水が原因で全滅 (A)
- 3 桜木町駅そばにかかる根岸線大鉄橋、橋脚に無事乗る (A)
- 3 仲尾台清掃出張所改築完成 (H)
- 3 日米ガールスカウト像の除幕式、山下公園で開催 (A)
- 4 日本エアウェイ開発、蒲田・山下公園間のモノレール敷設を運輸省に申請 (A)
- 4 日本最初のカトリック教会横浜天主堂跡を記念するキリスト像除幕式、山下町で開催 (A)
- 5 横浜文化体育館、翁町に落成、開館 (A)
- 5 港の見える丘公園、山手町に完成、開園式 (A)
- 5 港湾病院、新山下町に開院 (A)
- 6 横浜駅西口と伊勢佐木町を結ぶバス路線実現、相互に顧客交流の要望実る (A)
- 6 県新庁舎建設協議会、県庁新庁舎の建設地を元浜町に決定 (A)
- 7 中部下水処理場、小港に竣工、完成式 (A)
- 7 日本水上学園創立20周年式典 (A)
- 8 山下ふ頭に三井倉庫・日新運輸の倉庫完成 (山下ふ頭倉庫群の第1号) (A)
- 9 伊勢佐木町の松喜屋百貨店、立地条件悪く1階売り場の半分をスーパーマーケットに衣替え (A)
- 9 旧横浜正金銀行ビルの博物館への転身本決まり (A)
- 10 横浜駅西口・伊勢佐木町・山下公園を結ぶバス路線開通 (A)
- 10 関内ギャラリー、住吉町に開店 (A)
- 10 山手地区接收解除促進協議会結成 (A)
- 10 生糸検査所の角に「日刊新聞発祥の地」記念碑建立、除幕式 (A)
- 10 中区婦人団体連絡協議会が発足 (G)

- 11 エドモンド・モレル記念碑、鉄道開通90周年を迎え外人墓地に竣工、除幕式 (A)
- 11 中区老人クラブ連合会が発足 (G)
- 12 山下ふ頭臨港線起工式 (U)

1963 (昭和38)

- 1 野村證券ビル横浜支店、尾上町に完成 (A)
 - 2 市、本牧・根岸・山手の米軍ハウスを区域内の新区画整理地に移し立体高層化案作成 (A)
 - 2 末吉町等大岡川べりバラック街最後の撤去始まる (A)
 - 3 旧横浜正金銀行本店を県重要文化財に指定 (A)
 - 3 初音町に横浜市麻薬更生相談室できる (V)
 - 3 根岸湾第1期埋立工事完工式 (A)
 - 3 根岸湾第2期埋立ハ地区事業計画決定 (A)
 - 3 山下ふ頭完成、完工式 (A)
 - 3 大岡・吉田両川を埋立て、緑地帯・駐車場・商店街を建設する高度土地利用の基本設計まとまる (A)
 - 4 横浜市長に飛鳥田一雄氏当選 (U)
 - 4 開港記念横浜会館でミス横浜審査会 (C)
 - 4 増築拡張中の野沢屋、全館落成開店 (A)
 - 5 本牧沖埋立漁業補償、総額27億2850万円の補償料と一世帯平均100㎡の新造成地提供で妥結 (A)
 - 7 翁町に市青少年センター完成、9月開所 (A)
 - 10 伊勢佐木町1・2丁目商和会、アーケード完成を記念し菊まつりを開催 (A)
 - 10 本牧ふ頭関連産業地帯の造成に着手 (A)
 - 11 根岸線の矢口台付近の土地買収がこじれ、土地収用法による土地取得手続きをとる (A)
 - 11 中区体育指導委員連絡協議会が発足 (G)
 - 12 開港記念横浜会館で市営住宅入居者抽選会 (C)
山下ふ頭建設のため白灯台撤去、氷川丸棧橋に保存 (D)
- ## 1964 (昭和39)
- 3 日本石油精製根岸製油所竣工 (日本最大) (A)

- 4 横浜市民ギャラリー、桜木町駅前の旧中区役所に開館（全国初の公営ギャラリー）（A）
- 4 県立中央精神衛生相談所、富士見町に設立（A）
- 4 県立内職公共職業補導所、本町に設立（A）
- 5 横浜税関分庁舎完成、1階に全国最大の輸出入貨物検査所設置（A）
- 5 根岸線第1期工区間（桜木町・磯子間）開通式、磯子駅前広場で開催（A）
- 5 中区交通安全対策協議会が発足（G）
- 6 プラザースフォア、横浜文化体育館で公演（A）
- 7 伊勢佐木町1・2丁目の車両通行を規制（A）
- 7 区役所に区民相談室開所（A）
- 8 第3回日米親善盆踊り大会、小港の米軍野球場で開催（A）
- 9 市立東高校、翁町より鶴見区に移転（A）
- 10 大棧橋に国際旅客ターミナル竣工、完成式（A）
- 10 野毛本通りの露店60軒、20年ぶり撤去、新装の都橋ビルに収容（A）
- 11 YMCA青少年センター、横浜公園前に完成（A）
- 11 横浜港ベイブリッジ建設計画の大要発表（A）

1965（昭和40）

- 1 港湾厚生センター、山下ふ頭入り口に完成、完工式（A）
- 1 千鳥町を設定（A）
- 1 本牧1号住宅地の接収解除決定（A）
- 2 丸井伊勢佐木町店開店（A）
- 4 白燈台、氷川丸棧橋に再び点燈（A）
- 4 福富町の西児童公園に乗り物コーナー完成、祝賀会（A）
- 5 港湾局、山下ふ頭を北米向け輸出専用バースに指定（A）
- 6 市寿生活館、寿町3丁目に設置（A）
- 7 根岸の埋立地に野球場11面完成（A）
- 7 山下公園海浜側を走る山下臨海鉄道開通（A）
- 7 民生安定所を福祉事務所と改称（A）

1966（昭和41）

- 1 市中央職業指導所、山下町の労働基準監督局跡に完成、開所式（A）
- 4 おぎゃあ植樹の受付、各区役所で始まる（A）
- 4 中区青少年団体連絡会が発足（G）
- 5 県新庁舎落成式（A）
- 7 市河川利用審議会、4運河（派大岡川・吉田川・新吉田川・新田間川）の埋立を答申（A）
- 8 根岸線2期工事（磯子・大船間）許可（A）
- 12 高速鉄道事業起工式、平和球場脇で開催、地質調査のためボーリング開始（地下鉄建設の第一歩）（A）
- 12 桜木町駅前に地下道完成、開通式（A）
- 12 駿河銀行横浜支店ビル、尾上町に完成（A）
- 12 本牧町、本牧元町に各地先埋立地を編入（A）

1967（昭和42）

- 1 アメリカ文化センター、3月末で閉鎖決定（A）
- 1 記録映画「伸びゆく横浜港」完成試写会、本牧埋立地で開催（A）
- 3 異人館レストラン山手十番館、外人墓地正面に開業（A）
- 3 県立博物館、南仲通に竣工、開館式（A）
- 3 大丸百貨店、伊勢佐木町店開店（A）
- 3 日本水上小学校廃止し、生徒を北方小学校に収容（A）
- 4 横浜市長に飛鳥田一雄氏再選（U）
- 4 土曜小劇場、県電業会館を会場に定期公演開始（A）
- 5 港湾行政合理化を目指す横浜第一港湾合同庁舎完成、落成式（A）
- 5 市内中心部の電話局番3ケタになる（G）
- 6 新山下町の横浜海上救難施設接収解除（A）
- 6 中区青少年図書館、本牧に開館（G）
- 7 桜木町駅前商店街結成、再開発を目指し高層化を計画（A）
- 7 日産自動車専用ふ頭、本牧埋立地に完成、披露式（A）
- 8 県労働福祉センター新ビル、花園橋脇に完成、

落成式 (A)

- 9 キリンビール、日本ビール発祥の地・北方小学校構内のビール井戸を新装して市教委に寄付、除幕式 (A)
- 10 市、派大岡川等3河川を埋め立てる中心部の再開発計画を発表 (A)
- 10 鉄道発祥記念碑除幕式、桜木町駅前で開催 (A)
- 11 横浜センタービル、関内駅北口に開業 (A)
- 11 小港町・本牧十二天・本牧町・本牧元町地先埋立地を錦町と命名 (A)
- 11 本牧元町地先埋立地を豊浦町と命名 (A)
- 11 本牧大里町・本牧三之谷・間門町・千鳥町地先埋立地を千鳥町に編入 (A)
- 12 根岸競馬場など5か所が接収解除 (V)
- 12 伊勢佐木町1・2丁目商店街のカラー歩道完成、完工式 (A)

1968 (昭和43)

- 1 横浜地方法務局合同庁舎完成 (A)
- 2 新港ふ頭に遠距離用大型巡視船基地着工 (A)
- 3 松喜屋デパート、一部をスーパーに改装して再スタート (A)
- 3 新山下横浜ヨットハーバー、横浜港拡張で閉鎖 (A)
- 4 コンテナクレーン、本牧ふ頭に完成、引き渡し式。荷役量一挙に4倍になる (A)
- 5 桜木町ゴールデンセンタービル完成、5月開店 (A)
- 7 横浜中華学院落成式 (A)
- 8 錦町地先埋立地面積82万1238㎡を本牧ふ頭と命名 (A)
- 11 区役所、出張相談を開始 (V)
- 11 市みなと学園、翁町2丁目に設置 (A)
- 12 花模様のあるカラー歩道、伊勢佐木町3・4丁目に完成 (A)
- 12 港湾労働者住宅第1期分120戸、錦町に完成 (A)
- 12 市、山下公園前屋台の強制撤去方針を打ち出す、1969・1自主撤去 (A)
- 12 本牧元町・本牧町4丁目に地先埋立地3693㎡を編入 (A)

春 伊勢佐木町ブルース発表会開催、歌手の青江三奈、各店を訪ねあいさつ (A)

1969 (昭和44)

- 1 畜犬センター、豊浦町地先に設置 (A)
- 2 「絹と女」の像、山下町のシルク博物館前に完成 (A)
- 2 本牧元町・本牧大里町・本牧三之谷・間門町2丁目に埋立地13万9809㎡を編入 (A)
- 3 シルク博物館、開館10周年 (A)
- 3 チビッコ道路、英町等5か所に完成 (A)
- 3 関東ほてい、松喜屋を合併、4月、ほていや伊勢佐木センター開店 (A)
- 3 南仲通の旧正金銀行本店の県重要文化財の指定を解除 (A)
- 3 陸運センター、本牧ふ頭に完成 (A)
- 4 寿町に待望の自治会発足、生活相談所開設 (A)
- 4 収容台数463台の立体駐車場、新山下町に竣工、完成式 (A)
- 6 障害児の通園施設「おおとり園」が開園 (V)
- 7 かもめ町設定 (埋立地45万5337㎡の一部、残部を錦町に編入) (A)
- 7 横浜検疫所、創立90周年 (A)
- 7 市、港の見える丘公園に隣接する英総領事官邸を2億4688万円で落札 (A)
- 7 本牧市民公園完工式、プールも開場 (A)
- 7 本牧ふ頭関連産業用地造成、完工式、日石等76社が進出 (A)
- 8 本牧ふ頭コンテナ専用バース完成 (A)
- 10 市、山下臨港線を国鉄に営業委託 (A)
- 10 南仲通の米軍調達事務所、座間へ移転決定 (A)

1970 (昭和45)

- 1 横浜市民ホール、横浜宝塚劇場跡に開館、開場式 (A)
- 1 市青少年陶芸センター、本牧市民公園内に開業 (A)
- 1 小港町・本牧ふ頭地先埋立地、34万2021㎡を本牧ふ頭、錦町の2町に編入 (A)

- 2 日本初の電話交換局「横浜電話局」閉鎖 (A)
- 3 ホテルニューグランドの新館完成 (A)
- 3 根岸線、磯子・洋光台間営業開始 (A)
- 4 伊勢佐木町5～6丁目のイソップカラー歩道完成 (A)
- 4 市中央専修職業訓練校、山下町に設置 (A)
- 4 新山下一～三丁目を設定 (A)
- 4 新山下三丁目地先埋立地7万6351㎡を本牧ふ頭に編入 (A)
- 5 横浜日活会館、伊勢佐木町3丁目に開館 (A)
- 5 市、新山下バイパス建設に関し反対協と初の連絡会を海洋会館で開催 (A)
- 6 市電高島町・本牧三溪園間を廃止 (A)
- 7 中区青少年指導員協議会が発足 (G)
- 7 歩行者天国、伊勢佐木町に誕生 (A)
- 9 鶴見・桜木町間の貨物線から蒸気機関車姿を消す (A)
- 10 本牧ふ頭に船員センター完成 (G)
- 11 山手町の元英総領事官邸、「イギリス館」として完成、開館式 (A)
- 11 中華街発展(協)設立 (A)
- 12 新山下三丁目地先埋立地14万7022㎡を本牧ふ頭に編入 (A)
- 12 中華街名物の朱門を増設、第1号の西門完成、点燈式 (A)

1971 (昭和46)

- 1 元町商店街で歩行者天国実施 (A)
- 2 米軍山手住宅第1次分返還完了 (A)
- 2 本牧ふ頭地先埋立地14万3500㎡を同町に編入 (A)
- 3 イセザキパーキング(6階建120台収容)完成 (A)
- 3 本牧市民公園に市電が保存される (G)
- 4 市長に飛鳥田氏、3期目の当選 (U)
- 5 横浜生糸取引所再開20周年記念式典 (A)
- 5 京急日ノ出町駅前で、スクランブル式交差点実施(市内で最初) (G)
- 6 桜木町デパートの立退き決定、10年越しの買収交渉成立(1972年4月立退き完了) (A)

- 6 市・仏政府間にフランス山の買収交渉成立(1972年6月開園式) (A)
- 10 横浜共立学園創立100周年記念式典 (A)
大棧橋内に「秋元不死男の句碑」建立 (D)

1972 (昭和47)

- 1 フィリピン独立の志士故リカルテ將軍の碑、山下公園で除幕式 (A)
- 3 アメリカ領事館閉鎖、跡地に横浜日航ホテルの本格的設計着手 (A)
- 3 横浜公園体育館閉鎖、休憩広場に衣替え (A)
- 3 港町魚市場跡記念碑、市役所構内に建立、除幕式 (A)
- 3 市電全廃 (G)
- 3 全国初の港湾労働者の訓練施設、本牧ふ頭に完成、落成式 (A)
- 4 テレビ神奈川が開局 (G)
- 5 横浜海岸教会、100周年を記念し講演会開催 (A)
- 5 市営地下鉄の駅名争奪戦、伊勢佐木長者町と決定 (A)
- 5 北仲通の第3管区海上保安本部敷地内にある日本最古の燈台解体、晴海の海洋博物館へ移転 (A)
- 6 山手のフランス山が百年ぶりに開放、公園としてオープン (G)
- 9 関内中央ビル、関内駅前に完工 (A)
- 9 生糸検査所前にある日本最古のガス灯撤去、東京ガス資料館で永久保存 (A)
- 10 日中復交後初の国慶節 (A)
- 11 横浜税関百周年記念碑除幕式、税関入り口で挙行 (A)
- 11 市、山手地区景観風致保全要綱施行 (A)
- 12 元町プラザ、オープン (A)
- 12 高速横羽線の計画敷地にあたる吉田橋際の三和ビル、撤去完了 (A)
- 12 市営地下鉄1号線、上大岡・伊勢佐木長者町間開業 (A)

1973 (昭和48)

- 2 横浜松竹映画劇場(旧オデロン座)閉館 (A)

- 3 大通り公園となる吉田川埋立て工事完了 (Q)
- 3 八聖殿郷土資料館一般公開 (A)
- 4 根岸線全通 (A)
- 5 打越の霊泉の碑建立 (G)
- 6 横浜産業貿易センター創立 (A)
- 7 大江橋架け替え工事完成 (G)
- 8 高速道路工事のため吉田橋撤去 (Q)
- 8 浮かぶホテル「氷川丸」引退、さよならパーティー (A)
- 10 フランス山公園にクリーニング発祥記念碑完成、除幕式 (A)
- 10 野沢屋、社号を「ノザワ松坂屋」と変更を決定 (1977年3月、横浜松坂屋に改称) (A)
- 12 根岸旭台の太田家住宅を県重要文化財に指定 (A)

1974 (昭和49)

- 2 米軍接收施設モータープール正式返還 (A)
- 4 船員たちの憩いの場、USS (ユナイテッド・シーメンズ・サービス) 本牧ふ頭に開業 (A)
- 6 関内・伊勢佐木町地区、全面駐車禁止等大幅交通規制実施 (A)
- 6 港町にくすのき広場完成 (G)
- 6 本郷町に上台集会所が開館 (G)
- 7 教育文化センター、万代町に開館 (A)
- 7 中区民協議会が発足 (Q)
- 9 横浜指路教会創立百周年記念礼拝 (A)
- 9 新本牧地区開発促進協議会が発足 (Q)
- 10 寿町総合労働福祉会館開館 (A)
- 11 県都市計画地方審議会、吉田橋周辺の地下歩道計画を承認 (A)
- 12 関内・伊勢佐木町地区、全面駐車禁止 (A)
- 12 市、山下公園と最寄りの3駅を結ぶプロムナード建設に着手 (A)
- 12 富士見川公園開園 (G)

1975 (昭和50)

- 1 県民ホール、山下町に竣工、開館記念式典 (A)
- 1 山吹町に伊勢佐木警察署新庁舎完成 (G)

- 4 外国郵便開始100年を記念する碑板、横浜港郵便局に取りつけられ除幕式 (A)
- 4 日本大通を「昼休みの歩行者天国」に指定 (A)
- 5 横浜朝日会館、日本大通に新築落成 (A)
- 6 錦町に環境事業局中事務所新庁舎建設着工 (G)
- 6 山吹町に中消防署新庁舎建設着工 (G)
- 9 伊勢佐木町の十字屋横浜支店閉店 (A)
- 9 伊勢佐木町誕生百年記念祭り、吉田橋関所開き (A)
- 9 日中国交回復3年、中華街の中国国籍圧倒的に増加 (A)
- 11 産業貿易センター完成、完工式開催。横浜商工会議所等入居 (A)
- 12 中島敦の文学碑、ゆかりの元町の横浜学園幼稚園に完成 (A)

1976 (昭和51)

- 5 伊勢佐木町一部地区と福富町へのタクシー・ハイヤーの夜間乗り入れを禁止 (A)
- 7 第2山手トンネル完成、慢性渋滞を解消 (A)
- 8 創業107年を誇る横浜最古のデパート松屋横浜店、ノザワ松坂屋に合併 (A)
- 9 ザ・ベンチャーズ、横浜公園音楽堂で公演 (A)
- 9 横浜地方合同庁舎、山下町に落成 (A)
- 9 環境事業局中事務所新庁舎完成 (Q)
- 9 市営地下鉄 (伊勢佐木町・横浜間、上永谷・上大岡間) 開通 (A)
- 10 市長、平和球場改築計画を市会で説明 (収容人員3万人の多目的球場に改築し、プロ野球を誘致) (A)
- 11 横浜東宝会館20周年記念映画祭り (A)
- 11 常盤町4丁目に「アイスクリーム記念碑・太陽の母子」像が建てられた (D)
- 11 馬車道再開発第1期工事完成を記念し馬車道まつり開催 (A)
- 12 市開発局、伊勢佐木町と馬車道を結ぶ吉田橋スクエア整備計画発表 (A)

1977 (昭和52)

- 1 大佛次郎記念館着工 (Q)
- 2 我が国初の「馬の博物館」、根岸競馬場跡に完成、落成式 (A)
- 4 国際会議場、産貿センター内に開設 (A)
- 4 山手資料館 (旧園田邸復元) 開館 (Q)
- 6 区役所の機構改革実施 (Q)
- 7 横浜オークション、発祥の地英一番館跡のシルク博物館ホールで復活 (A)
- 8 麦田スポーツガーデンがオープン (Q)
- 9 市内の運河派大岡川、高速道路建設のため埋め立て、姿を消す (A)
- 10 伊勢佐木町と関内駅を結ぶ横浜中央地下街 (マリナード) 開業 (A)
- 10 根岸森林公園、馬事公苑と同時に完成、開園式 (A)
- 10 中区制50周年記念式典 (Q)
- 10 中区役所、「横浜の女たち」発行 (A)
- 11 中華街通り歩道整備終了 (都心プロムナード石川町駅ルート完成) (Q)
- 11 中区青少年図書館内に中区郷土史コーナーオープン (Q)
- 12 山下長津田線の花咲町・扇町間が開通 (Q)

1978 (昭和53)

- 1 中区福祉の風土づくり推進委員会発足 (Q)
- 1 中区本牧青少年の家閉館 (Q)
- 2 旧根岸競馬場で戦前まで行われていた馬頭観世音祭り、馬事文化財団により35年ぶりに復活 (A)
- 3 横浜スタジアム完工式 (A)
- 3 吉田橋スクエア完成、「鉄の橋」も復元 (A)
- 3 首都高速道路横羽線延伸区間 (東口・横浜公園間) 開通式 (A)
- 4 飛鳥田市長の辞任による市長選で細郷道一氏当選 (V)
- 4 横浜野外音楽堂を守る会、新野外音楽堂建設を訴え無料コンサート開催 (A)
- 4 新山下一丁目・山下町等隣接公有水面埋立地 2万5379㎡を新山下一丁目・山下町に編入 (A)

- 4 大佛次郎記念館開館式 (A)
- 5 横浜外人墓地を愛する会結成 (A)
- 5 首都高速道路公団、ベイブリッジのボーリング調査開始 (A)
- 5 新本牧地区区画整理事業の都市計画決定 (Q)
- 6 横浜公園内の米軍チャペルセンター返還 (1980年9月、跡地に水の広場完成) (A)
- 6 本牧の「お馬流し」、県無形民俗文化財に指定 (A)
- 7 市営海づり公園、本牧ふ頭に完成、完工祝賀式 (A)
- 8 横浜本牧美術館 (私立) オープン (Q)
- 9 大通り公園開園式 (A)
- 10 横浜インターナショナルテニスクラブ 誕生百年を祝う記念碑除幕式、山手の日本庭球発祥の地で開催 (A)
- 10 中華街の国慶節、日中条約締結で賑う (A)
- 11 伊勢佐木町ショッピングモール化事業完成、記念セール (A)
- 11 野毛3丁目市街地再開発事業の都市計画決定 (Q)
- 12 市立港湾労働会館、海岸通に完成開館 (A)
- 12 中区郷土資料叢書「ある横浜商人の賦 - 中村房次郎考 -」発行 (Q)
- 12 米国の鼓笛隊「マリナーズ」本部、横須賀から横浜へ移転、ベイサイドコートで初練習 (A)

1979 (昭和54)

- 2 横浜公園の野外音楽堂が撤去 (Q)
- 3 野毛3丁目地区の再開発事業認可 (Q)
- 4 「笹と少年」ブロンズ像設置 (羽衣町街庭) (Q)
- 4 「鳥を呼ぶ」ブロンズ像設置 (根岸森林公園) (Q)
- 4 ハリファックス・アソシエイツ (ジャーディン・マセソンの子会社)、山下公園前にポートスクエア建設、完成式 (A)
- 4 横浜開港資料館として旧英国領事館の買収交渉、英大使館で成立 (A)
- 4 創価学会神奈川文化会館、山下公園前に完成、落成式 (A)

- 6 山手の住民63人、急傾斜地崩壊危険区域の崖上のマンション計画に反対し、市の許可取消を求める訴えを地裁に提起 (A)
- 7 ザ・ホテル・ヨコハマ、山下公園前に開業 (A)
- 7 横浜検疫所、検疫制度100年記念式典を開催 (A)
- 10 ヘボン博士最後の居住地(山手の米国務省日本語研修所)に業績偲ぶ記念碑建立 (A)
- 11 「かもめの水兵さん」の詩碑、ゆかりの山下公園で除幕式 (A)
- 11 横浜公園内チャペルセンター跡地整備開始 (Q)
- 11 大岡川左岸整備工事着工(太田橋〜黄金橋) (Q)
- 11 童謡「赤い靴」に因んだ少女の像、山下公園に完成、除幕式 (A)

1980 (昭和55)

- 1 一人暮らし老人給食開始 (Q)
- 2 ダイエー石川町店進出反対山手地区協議会が進出反対を表明 (P)
- 2 区商連、ダイエー進出対策協議会の発足決議 (P)
- 2 地区カルテ・生活環境図集(地図におとした中区)刊行 (Q)
- 2 中区郷土資料叢書「横浜・作家の居る風景」刊行 (Q)
- 3 新本牧地区山頂公園基本計画策定 (P)
- 4 横浜郵便貯金会館、山下町に完成、開業 (A)
- 5 丸井横浜店馬車道館、開業 (A)
- 5 市立港高校・港商業高校合同校舎、落成式 (A)
- 5 中区役所新庁舎移転先の用地買収 (Q)
- 8 伊勢佐木町にある国際酒場「根岸屋」、経営不振で閉店、ハマの戦後また消える (A)
- 9 横浜公園「水の広場」、チャペルセンター跡地にオープン (Q)
- 9 横浜生糸検査所、84年の歴史に終止符 (A)
- 9 野外音楽堂を作る会結成大会、県社会福祉会館で開催 (A)
- 10 横浜YWCA新館完成、落成式 (A)

- 10 知事、港の見える丘公園に県立近代文学館建設計画を発表 (A)
- 10 服飾岩崎博物館、ゲート座跡に完成、公開 (A)
- 11 横浜ベイブリッジ起工式、大黒ふ頭で挙行 (A)
- 11 外人墓地、10年ぶりに公開、4000人入場 (A)
- 11 港の見える丘公園「南の森」地区オープン (Q)
- 12 横浜バプテスト教会(寿町)、取り壊して最後のクリスマス礼拝 (A)
- 12 港の見える丘公園フランス山地区「パビリオンバルタール」公開 (Q)

1981 (昭和56)

- 1 吉浜町の横浜掖済会病院、山田町に移転、70年の歴史に別れ (A)
- 2 日ノ出町と曙町で火事、15棟全半焼 (A)
- 3 横浜開港資料館、日本大通の旧英領事館に設立、6月開館 (A)
- 3 市健康福祉総合センター、桜木町駅前に完成 (Q)
- 4 横浜海員会館オープン(山下町85) (Q)
- 4 区役所の昼休み窓口業務、14区一斉に実施 (A)
- 5 横浜公共職業安定所移転(寿町から本町へ) (Q)
- 5 各区に区政推進課を新設 (A)
- 6 横浜開港資料館オープン(日本大通) (Q)
- 7 都心臨海部総合整備計画基本計画発表 (Q)
- 8 本牧の米海軍横浜海浜住宅PX広場で、最後の日米親善盆踊り大会 (A)
- 9 ホリデイ・イン横浜、中華街入り口に開業 (A)
- 9 音楽波止場「本牧ジャズ祭」、本牧市民公園で開催 (A)
- 9 丸井伊勢佐木インテリア館開館 (A)
- 9 長谷川潔記念碑、大通り公園「みどりの森」に建設、除幕式 (A)
- 10 吉田川・新吉田川を偲ぶ「橋の詩」レリーフ、伊勢佐木長者町駅前に除幕 (A)
- 10 中区役所新庁舎建設起工式 (Q)

10 本牧海浜住宅の代替施設、旧根岸競馬場スタンド前に完成、開所式（A）

1982（昭和57）

- 1 建設省、新本牧地区土地区画整理事業認可（A）
- 1 中区民意調査実施（Q）
- 2 港中学校新校舎完成（Q）
- 3 横浜海浜・新山下・根岸の各米軍住宅地区（面積81ha）返還（A）
- 3 港湾局、大棧橋入り口道路の歩道を拡張、市民利用を促進（A）
- 4 3埠頭をつなぐ市道「湾岸線」、8年5か月ぶりに完成、完工式（A）
- 4 山下町のシルクホテル、経営不振で閉鎖（A）
- 4 市、本牧地区再開発で地権者全員と街並み統一を目指す建築協定締結（A）
- 4 市職能開発センター、山下町に設置、4月開所式（A）
- 5 本牧市民公園児童交通広場オープン（Q）
- 7 薪能、山下公園で初めて開催（A）
- 8 山手外人墓地一般公開（Q）
- 10 交流の歌「美しのサンディエゴ」を刻んだ歌碑、山下公園に完成、除幕式（A）
- 10 寿町で失業者急増（A）
- 10 土曜の深夜、本牧ふ頭のゼロヨンレース出現（A）
- 11 伊勢佐木町3・4丁目のモール化完成（A）
- 11 新本牧地区土地区画整理事業基盤整備着手（Q）
- 12 吉田中学校新校舎完成（Q）
- 12 大棧橋入口に開港広場竣工、完成式（A）

1983（昭和58）

- 1 ナホトカ航路のバイカル号、最後の入港、さよならパーティー、福富町のレストランで開催（A）
- 4 横浜・サンジェゴ姉妹都市提携25周年を記念する「友情のベル」山下公園で除幕（A）
- 4 桜木町ゴールデンセンター、新装開店、愛称ぴおシティ（A）

5 中区青少年問題推進会議設立（Q）

8 フランス山公園内に「大野林火の句碑」建立（D）

8 山手駅自転車対策モデル地区協議会設立（Q）

8 前田橋（架け替え）完成（Q）

10 県、高速湾岸道路（本牧・釜利谷間）を都市計画決定（A）

11 横浜最大の結婚式場ロイヤルホール・ヨコハマ、山下町に完成、開業（A）

11 横浜地検新庁舎、日本大通に完成、落成式（A）

11 県民共済ビル、元浜町に完成（A）

11 市内市街地再開発事業第1号野毛の市街地再開発ビル「ちえるる野毛」開業（A）

11 中区役所、日本大通に完成、業務開始（A）

12 みなとみらい21事業起工式（Q）

12 各区、戸籍簿をバインダーから電動回転ファイル方式に移行（Q）

12 山下長津田線（西の橋・山下橋間）供用開始（Q）

12 市民ホール最後の音楽会、48年の歴史に幕（A）

12 代官橋および市場通り橋供用開始（Q）

12 大鳥小学校新校舎完成（Q）

12 北方小学校新校舎完成（Q）

12 野毛地区センター開館（Q）

1984（昭和59）

1 元街小学校新校舎完成（Q）

2 交通局、地下鉄3号線（関内・山下町間延伸）はMM新線と重複のため廃止の可能性を示唆（A）

2 首都高速横羽線、横浜公園・新山下間（1.8km）開通、供用開始（A）

3 シルクホテル株主総会、この月かぎりで会社解散を決議（A）

3 山元町消防出張所完成（Q）

3 常盤町に「神奈川電気発祥の地」の碑が建てられた（D）

3 新本牧まちづくり計画の策定（P）

4 関内・港の見える丘公園間を結ぶ市営2階建

- バス「ブルーライン」の運行開始（A）
- 4 山下公園と港の見える丘公園を結ぶ歩道橋の一部完成、開通（A）
- 5 演劇の礎をたてるヘフト祭、外人墓地で執行（A）
- 6 新市民ホール、住吉町で起工式（A）
- 6 馬車道に「近代街路樹発祥の地」記念碑が建てられた（D）
- 7 市、山手の洋館75棟を対象に文化財調査に着手（A）
- 7 市労働文化センター、教文センター隣接地で起工式（A）
- 7 中区鉄道延伸促進協議会設立（Q）
- 9 元町商店街、調和ある美しい街目指し再開発起工式（A）
- 9 日米親善の「青い目の人形」7体、戦時の迫害をくぐり再会、国際会議場で初の公開（A）
- 10 県立神奈川近代文学館、港の見える丘公園の一角に完成、開館記念式典（A）
- 10 市内トルコ風呂業界、トルコの名称一掃を決議（A）
- 10 石川町駅自転車対策モデル地区協議会設立（Q）
- 10 帆船日本丸記念財団発足（A）
- 10 本町小学校新校舎完成（Q）
- 12 元町の大正活映撮影所跡地に記念碑建立、除幕式（A）
- 12 市設貯木場開設50周年を記念し、新山下に「市設貯木場発祥の地」記念碑完成、除幕式（A）

1985（昭和60）

- 2 鉄道延伸促進中区民総ぐるみ大会、開港記念会館で開催（A）
- 3 「中区史」刊行（Q）
- 4 山手外人墓地修復工事完成、定期公開再開（A）
- 5 石川町駅北口自転車駐車場開設（Q）
- 6 国鉄関内駅駅舎改良工事完了（Q）
- 7 横浜オデロン座復活、開館（A）
- 8 区画整理が進む新本牧地区の一部、9.1からの供用開始決定（A）

- 8 元町歩車道整備工事完成、記念式典（A）
- 10 山下公園通りにガス灯40基復元、点火式（A）
- 10 長谷川伸の文学碑、日本丸メモリアルパークに建立、除幕式（A）
- 11 1986年4月オープンの市労働文化センターの名称、技能文化会館と決定（A）
- 11 レーモンド設計の旧山手250番館、新本牧地区に復元決定（A）
- 11 西洋歯科医学発祥の地記念碑、山下町の駐労会館脇に完成、除幕式（A）

1986（昭和61）

- 1 横浜駅東口と山下公園を結ぶ海上直行便シーバス、運航開始（A）
- 3 技能文化会館、万代町2丁目に完成（4月開館）（A）
- 3 中部下水処理場の上に小港南公園オープン（Q）
- 4 本牧ふ頭C突堤の8・9号バース供用開始（A）
- 5 外国人用総合病院、ザ・ブラフ・ホスピタル（通称山手病院）4年ぶり再開（A）
- 5 古沢太穂の句碑、根岸森林公園に完成、除幕（A）
- 6 横浜人形の家、山下公園前に開館（A）
- 7 横浜港シンボルタワー、本牧D突堤で完成式典を挙げる（A）
- 7 桜木町立体交差事業起工式、MM21地区の桜木町駅隣接地で開催（A）
- 7 新本牧地区の住居表示実施（Q）
- 8 KDD横浜営業所、元浜町の新社屋に開業（A）
- 9 市民文化会館「関内ホール」、住吉町4丁目市民ホール跡に開館（A）
- 10 横浜につかつ劇場、横浜オスカーと改名、洋画系封切り館として開業（A）
- 11 馬車道の日本火災海上横浜支店の建造物、建替に際し石の外壁をL字型に保存することで決着（A）

1987（昭和62）

- 3 新本牧地区の区画整理終了、海側の集合住宅

- 地区に建てられた12階建て高層マンションに
第1陣入居開始（A）
- 3 馬車道の日本火災ビル保存工事着工（規制緩和の適用第1号）（A）
- 5 下岡蓮杖の業績をたたえる顕彰碑、馬車道に
除幕（A）
- 5 区制60周年を記念して中区音頭誕生、教文セ
ンターで披露（A）
- 5 市、山下公園売店撤去問題で鉄柵設置を強行、
店主ら反発（A）
- 6 みなとみらい21線地元説明会（P）
- 7 山下町の通信会館145億円で買収され、10月、
ホテルコンチネンタル横浜として再スタート
（A）
- 10 中区ふるさと白書「街なか・ひと仲・はまの
中」発行（Q）
- 10 馬車道の地下通路建設現場で、日本人による
最初の近代水道の遺構発見される（A）
- 11 港湾審議会、南本牧ふ頭計画決定（P）
- 12 野毛本通りで、モール完成を記念する式典と
渡り初め（A）

1988（昭和63）

- 1 本牧2丁目の民家の裏山で、7世紀後半の横
穴式墳墓発掘（A）
- 2 麦田1丁目に老人福祉センター麦田清風荘オー
プン（S）
- 4 市政100周年記念のイベントとして本牧
ファンタジーを開催（S）
- 6 開港記念横浜会館、ドーム復元工事始まる
（C）
- 7 この頃、ハツカネズミが関内のビル街を制圧
（A）
- 7 横浜で創業した在日外国商社の老舗シイベル・
ヘグナー・グループ、山下町の創業地にビル
を建設、完成披露パーティー（A）
- 7 市政100周年記念のイベントとしてフェ
ステなか'88を開催（S）
- 8 ベイサイドコートの旧米軍宿舎を除却（P）
- 9 マリタワー内の横浜海洋科学博物館閉館。
MM21地区にマリタイム・ミュージアムが誕
生するため（A）
- 10 新井清太郎商店の新本社ビル、市庁舎前に完

成（A）

- 12 市、南本牧ふ頭地区公有水面埋め立て事業の
環境影響評価審査書の縦覧（T）
- 12 野毛1・2丁目日本通り環境整備事業完成（P）

1989（昭和64＝平成1）

- 1 新元号「平成」施行（T）
- 1 横浜音楽文化協会主催の「第1回ヨコハマ・
ワーグナー祭」山手ゲート座で開催（T）
- 1 中区市議補選、伊波洋之助氏当選（T）
- 2 JR桜木町駅のMM21側の新駅前広場使用開
始（T）
- 2 ベイブリッジ連結式（T）
- 3 JR桜木町駅の新駅舎、博覧会開幕に合わせて
開業。動く歩道も開通（T）
- 3 MM21新線の第3セクター、横浜高速鉄道
（株）創立総会（T）
- 3 中華街入口の善隣門建て替え、落成式（T）
- 3 二階建てバス・ブルーラインの起終点が関内
駅から桜木町駅に変更（T）
- 4 三溪記念館完成披露式典（T）
- 4 市政100周年記念日（T）
- 4 新本牧地区のショッピングセンター「マイカ
ル本牧」オープン（T）
- 4 中区高齢化社会対策研究調査報告書「住みな
れた街で暮らしたい」が発行される（S）
- 4 馬車道の日本火災横浜ビル、新装オープン
（T）
- 5 本牧に本牧地区センター、中図書館、オリブ
工房がオープン（S）
- 6 開港記念会館のドーム復元（S）
- 7 国の文化財審議会、開港記念会館を国の重要
文化財に指定するよう答申（T）
- 9 ベイブリッジとスカイウォークが開通（T）
- 11 横浜いいじゃん会、「本牧山頂公園を考える」
発刊（P）
- 12 横浜高速鉄道（株）、MM21線の第1種鉄道
事業免許を運輸省に申請（T）

1990（平成2）

- i 南本牧ふ頭地区公有水面埋立て免許認可（P）

- 2 南本牧ふ頭地区公有水面埋立て工事着手 (P)
- 2 野毛地区の住民、MM21線の事業免許取り消しを求める行政訴訟を提訴 (T)
- 3 本牧ふ頭と狩場町を結ぶ高速神奈川3号狩場線が全面開通 (T)
- 3 野毛3・4丁目本通り(野毛坂)環境整備事業完成 (P)
- 4 フランス政府の公式機関、横浜日仏学院が尾上町に開校 (T)
- 4 横浜高速鉄道(株)、MM21線の第1種鉄道事業免許を取得 (T)
- 4 市長選挙、高秀氏初当選 (T)
- 4 中区高齢化対策協議会と中区地域ケアサービス総合調整推進会議がスタート (S)
- 5 石川町駅周辺地区再整備事業にかかるダイエーが撤退を表明 (P)
- 6 中区選出の道脇市議員死去に伴う補欠選挙。松本純氏当選 (T)
- 6 本牧和田山研究会発足 (P)
- 7 開港記念会館で活動大写真大会や奥田良三コンサートを中心とした「開港どおりいむ」開催 (S)
- 7 中区国際交流の街づくり委員会設立 (T)
- 7 南本牧ふ頭起工式 (T)
- 8 JR桜木町駅構内に桜木町観光案内所オープン (T)
- 8 中華街関帝廟遷座式 (T)
- 11 イギリス館、地藏王廟が横浜市の指定文化財になる (S)

1991 (平成3)

- 1 住民基本台帳の電算処理を開始 (S)
- 4 中区で初のコミュニティスクールが山元小学校にオープン (S)
- 4 統一地方選挙 (S)
- 5 港の見える丘公園内にバラ園開園 (T)
- 5 山下町の開港広場が開園 (S)
- 6 国有財産関東地方審議会、国有地(赤レンガ倉庫)と市有地との交換決定 (T)
- 6 本牧山頂公園整備事業工事着工 (P)
- 7 ホテルニューグランドの新館オープン (T)

- 9 山手・イタリア山庭園、一部一般公開 (P)
- 11 ブラントン生誕150周年にあたり、吉田橋に記念碑、横浜公園に胸像が完成 (S)
- 11 伊勢佐木町5、6丁目商店街のモール化工事完成、オープニングセレモニー (T)
- 11 市都市計画審議会、みなとみらい21線の一期工事を都市計画決定 (T)
- 11 日ノ出町駅周辺が自転車等放置禁止区域に (S)

1992 (平成4)

- 1 各区で印鑑事務の電算処理始まる (T)
- 1 岩崎博物館、12年ぶりに改装、オープン (T)
- 1 交通局、リフト付き路線バスを運行 (T)
- 3 黄金町駅周辺が自転車等放置禁止区域に (S)
- 3 赤レンガ倉庫の土地と建物を市有地と交換する契約締結 (T)
- 4 市役所、区役所、第2・第4土曜日が休庁に (S)
- 4 新山下三丁目の中スポーツセンターがオープン (S)
- 5 新山下三丁目到新山下在宅支援サービスセンターと新山下ホームがオープン (S)
- 7 みなとみらい21線第1期区間都市計画決定(11月着工) (P)
- 7 赤レンガ倉庫活用検討委員会が発足 (T)
- 9 石川町駅北口公共駐車場開設 (Q)
- 9 本牧小学校開校 (Q)
- 10 福富町仲通公共駐車場供用開始 (P)
- 11 MM21線起工式 (T)
- 12 関内駅ホーム下に、障害者が働くふれあいショップ「かもめ」がオープン (T)
- 12 区役所に福祉保健相談室設置 (S)

1993 (平成5)

- 1 新港ふ頭にフェリー型貨客船の発着を中心とした新港ふ頭ターミナルがオープン (T)
- 2 福富西公園地下駐車場着工 (Q)
- 3 1948年に本牧国民学校を終了した人たちの「卒業式」が本牧小学校で開かれた (R)
- 3 旧中税務署建物解体 (P)

- 4 イタリア山庭園にブラフ18番館開館（S）
- 4 市役所・区役所、毎週土曜日が閉庁に（S）
- 4 地藏王廟の修復始まる（R）
- 4 仲尾台中学校改築（Q）
- 4 本牧中学校開校（Q）
- 5 柏葉公園にこどもログハウス開館（S）
- 9 元街小学校で「はまっ子ふれあいスクール」がスタート（S）
- 10 米軍の接收で移転していた本牧神社が、47年ぶりに仮住まいの場から本牧和田へ遷座（R）
- 12 石川町駅東口ビル（仮称）計画で、キーテナントを予定されていたダイエーが撤収する見通しとなった（R）

1994（平成6）

- 1 横浜市医師会中訪問看護ステーションが開所（Q）
- 2 違法駐車等防止重点地域で監視員による巡回指導が始まる（S）
- 4 山手警察署の新庁舎完成（R）
- 4 市長選挙（S）
- 4 新港ふ頭とみなとみらい21地区を結ぶ国際橋が開通（S）
- 4 新港ふ頭内の接收地（冷蔵倉庫）返還（P）
- 5 ゆめはま2010プラン中区計画（案）策定（S）
- 7 区役所の機構改革。地域振興課、福祉保健サービス課新設。保健所が区役所に編入（S）
- 7 野毛町3丁目北地区再開発協議会発足（P）
- 9 競馬法の改正に伴い従来の開催競馬場から横浜競馬場が削除される（L）
- 9 区役所専用の郵便番号が実施される（R）
- 9 本牧第一次地区（本牧大里町・本牧元町・間門）住居表示実施（S）
- 10 外国人墓地に資料館が完成（R）
- 11 各区に生涯学習支援センターがオープン（S）

1995（平成7）

- 4 新港ふ頭に海上防災基地完成（P）
- 4 統一地方選挙（S）
- 5 横浜中華街牌楼完成記念祭（R）

- 6 伊勢佐木町の横浜松坂屋、西館を閉鎖して建物を賃貸することを検討。そこに会員制場外馬券施設を誘致する案（R）

1996（平成8）

- 4 新港ふ頭の海上防災基地、全面オープン（P）
- 4 中区、視覚障害者のために、「中なか便利帳」の録音テープを作製（R）
- 4 中区、防災用資機材の取扱いを解説したビデオを作製（R）
- 4 中区役所のビル電（係へ直通の電話）開始（S）
- 5 南本牧ふ頭埋め立てに伴う補償として、金銭補償の代わりに予定していた水産物販売、飲食施設の建設を断念。83億円を漁協に支払い（R）
- 5 鷺山の国有地、2000㎡売却（R）
- 6 山手111番館、市に寄付される（R）
- 7 不老町地域ケアプラザ開所（S）
- 8 代官坂のナイトクラブ「クリフサイド」50周年（R）
- 10 官民一体となって文化支援を推進する中区メセナ活動推進懇話会が発足（S）

中区歴史年表

発行日 —— 1997年（平成9年）9月

発行 —— 横浜市中区役所

〒230-70 横浜市中区日本大通35

電話（045）224-8121

横浜市広報印刷物登録090375号

類別・分類A-QA040

編集 —— 横浜市中区役所区政推進課

印刷 —— 株式会社 野毛印刷社

正誤表

年月	誤	正
1929年1月	山下町	山手町